

# 官報

號外

昭和二年一月二十八日

金曜日

# 内閣印刷局

## 第五十二回 衆議院議事速記録第八號

昭和二年一月二十七日(木曜日)午後一時十四分開議

### 議事日程 第七號

昭和二年一月二十七日

午後一時開議

第一 河川法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 登録税法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四 印紙税法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第五 砂糖消費税法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第六 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第七 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第八 國債整理基金特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十 市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十二 計理士法案(政府提出) 第一讀會

第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十四 水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十六 大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法中改正法律案(林田龜太郎君外一名提出) 第一讀會

第十七 大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法中改正法律案(東武君外二名提出) 第一讀會

第十八 大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法中改正法律案(林田龜太郎君提出) 第一讀會

第十九 北海道農地特別處理法案(丸山浪瀨君外六名提出) 第一讀會

○議長(稻谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記官朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

震災手形損失補償公債法案

震災手形差後處理法案

朝鮮事業公債法改正法律案

臺灣事業公債法中改正法律案

關東州事業公債法中改正法律案

商事非訟事件印紙法中改正法律案

九州製鋼株式會社ノ工場等ノ買收代金ニ關スル法律案

鐵道敷設法中改正法律案

(以上一月二十六日提出)

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

會計検査院法中改正法律案

提出者 千葉 三郎君 武藤 山治君

未成年者飲酒禁止法中改正法律案

提出者 竹原 樸一君 田中 万逸君

提出者 嶋居 哲君 有馬 賴寧君

星島 二郎君 佐々木長治君

志賀和多利君 植原悦二郎君

坂東幸太郎君 杉浦 武雄君

山口 政二君 宮島幹之助君

信太儀右衛門君 谷原 公君

森 肇君 清水 長郷君

戶田 由美君

尼津漁業者ノ損害救済ニ關スル建議案

提出者 佐々木平次郎君 坂東幸太郎君

八戸久慈間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 柏田 忠一君

一 戶荒屋間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 柏田 忠一君

濱名湖ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

提出者 倉元 要一君

青年團及處女會指導機關設置ニ關スル建議案

提出者 倉元 要一君

水道費國庫補助金増額ニ關スル建議案

提出者 秋田寅之介君

尾道市鹽町間鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者 秋田寅之介君

提出者 倉元 要一君

提出者 嶋居 哲君 山下 谷次君

渡邊 伍君 河上 哲太郎君

裏九戶鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 柏田 忠一君

後藤寺、上山田間鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者 坂井 大輔君

國有林野所在府縣市町村ニ對シ交付金下付ニ關スル建議案

提出者 八田 宗吉君 堀切善兵衛君

提出者 志賀和多利君

國有林野法中改正ニ關スル建議案

提出者 八田 宗吉君 志賀和多利君

馬政振作ニ關スル建議案

提出者 八田 宗吉君 志賀和多利君

野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 八田 宗吉君 志賀和多利君

提出者 八田 宗吉君 植原 經武君

柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 八田 宗吉君

湖南鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 八田 宗吉君

磐梯山猪苗代湖ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

提出者 八田 宗吉君

提出者 八田 宗吉君 堀切善兵衛君

(以上一月二十六日提出)

恩給其ノ他ノ恩典ニ雇員在職年數通算ニ關スル建議案

提出者 青木 精一君

提出者 (以上一月二十七日提出)

決議案(政府委員ノ任命ニ關スル件)

提出者 牧山 耕藏君 松田 源治君

中村啓次郎君 三土 忠造君

武藤 金吉君 清瀨 一郎君

佐々木平次郎君 林田龜太郎君

森田 金藏君 鷺野米太郎君

大藏省令第二十八號ヲ廢止シ之ニ代ルヘキ法律制定ニ關スル決議案

提出者 武藤 山治君

一 議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

(以上一月二十五日提出)

官報號外 昭和二年一月二十八日(明治三十五年第三種郵便物認可) 衆議院議事速記録第八號 議長ノ報告

九九

對支外交ニ關スル質問主意書  
提出者 神田 正雄君  
(以上二月二十六日提出)

一左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲  
茲ニ掲載ス

一去二十五日衆議院規則第十五條但書ニ依  
リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

- 九一 山下 谷次君
- 九九 西方 利馬君
- 一九〇 向井 倭雄君
- 一九一 井口延次郎君

一去二十五日辭任シタル常任委員左ノ如シ

- 第三部懲罰委員 米原於菟男君
- 第七部豫算委員 加藤政之助君
- 第五部豫算委員 土生 彰君
- 第三部豫算委員 鳩山 一郎君

一去二十五日常任委員補選ノ結果左ノ  
如シ

第九部選出 横山勝太郎君(宮崎松次郎  
君補闕)

一昨二十六日若槻内閣總理大臣ヨリ左ノ通  
發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

- 内務省警保局長 松村 義一
- 社會局長 長岡隆一郎
- 北海道廳長官 中川 健藏

一昨二十六日衆議院規則第十五條但書ニ依  
リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

- 二四五 中村 貞吉君
- 二五七 村山喜一郎君

一昨二十六日常任委員補選ノ結果左ノ  
如シ

第三部選出 倉元 要一君(鳩山一郎君  
補闕)

懲罰委員 吉良 元夫君(米原於菟男  
君補闕)

第五部選出 三好榮次郎君(土生彰君補  
闕)

第七部選出 吉川吉郎兵衛君(加藤政之  
助君補闕)

一昨二十六日部長補選ノ結果左ノ如シ  
第七部部長 村松龜一郎君(部長加藤政  
之助君補闕)

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ會議ヲ開キマ  
ス、諮問事項ガアリマス、第九部選出豫算  
委員井出繁三郎君ヨリ常任委員辭任ノ申出  
ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセ  
ヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ  
ス、仍テ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速  
ニ補選選舉ヲ行ヒ届出アランコトヲ望ミマ  
ス、向ホ岡崎邦輔君病氣ニ付、一月二十六  
日ヨリ二月十五日マデ二十一日間、井上利  
八君病氣ニ付、一月二十八日ヨリ二月六日  
マデ十日間、此兩君ヨリ請暇ノ申出ガアリ  
マシタ、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 異議ナシト認メマ  
ス、許可致シマス、向ホ豫算委員長ヨリ本  
日本會議中委員會ヲ開會致シタイトノ申出  
ガアリマス、向ホ今後モ本會議中委員會及  
分科會ヲ開會シタイトノコトデアリマス  
ガ、之ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メ  
マス、仍テ許可スルコトニ致シマシタ、田崎  
信藏君ヨリ議事進行ニ關スル發言ヲ求メラ  
レテ居リマス、之ヲ許シマス

〔田崎信藏君登壇〕

○田崎信藏君 私ハ議長ニ向テ停會ト豫  
算審議期間ノ事ニ關スル議長ノ御意見ヲ御  
尋シタイトデアリマス、停會ノ期間ハ  
豫算審議ノ期間ニ算入スベキモノデアリマ  
セヌ、何トナレバ停會ハ政府ヨリ議院ノ活  
動ヲ停止シタイトデアリマス、政府ノ命ニ依  
リ豫算ノ審議期間ガ縮小スル道理ハナイノ  
デアリマス(分ルカヘ「分ラナイ」ト呼フ  
者アリ) 議院ガ任意休會シタル場合ナラバ  
格別デアリマス、停會ト休會トハ性質ヲ異

ニスルノデアリマス、是ガ實際ヨリ言フモ  
停會十數日ニ互ルトキハ豫算ノ審議ハ不可  
能トナルノデアリマス、前議會ニ於キマシ  
テ議院法改正ニ當リマシテ、本員ハ停會ノ  
日數ハ(發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○田崎信藏君(續) 豫算ノ審議期間ニ算入  
セズト致シマシテ、此明文ガ置カレタノデ  
アリマス、而シテ當時是ハ新法制ニ非ズシ  
テ、從前ノ解釋ヲ成文ニシタイトデアリマス、  
今期議會ニ於キマシテ本員ガ豫算案ヲ受取  
リマシタノハ、一月十八日ナルガ故ニ、元  
來二月七日迄ガ期間デアアルノデアリマス、  
中途一月二十日ヨリ二十二日迄ノ三日間ノ  
停會アリタル爲ニ、此期間ハ二月十日迄當  
然アルノデアリマス(發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○田崎信藏君(續) 然ルニ今豫算委員會ノ  
内容ナルモノヲ見マシレバ、豫算總會ハ僅  
ニ三日間デアリマス、分科會ハ二十九日カ  
ラ二月二日迄トシテ、後ハ黨議ニ依テ五  
日迄ニ終了スルト云フノデアリマス、若シ  
豫算審議期間ガ二月十日迄アルモノナラ  
バ、今期議會ノ如ク重大ナル所ノ一反對  
黨ハ膨脹セル豫算、又不景氣ノ深刻ナルガ故  
ニ、此挽回策ナル所ノ對案ガアルベキ筈デ  
アルノデアリマス、然ルニ其對案ナルモノ  
ヲ何等是レバカリモ示サズシテ、深甚ナル考  
慮ノ下ニ政策以上ノ大問題ナリト云フ朴烈  
問題、又ハ綱紀肅正ナルモノ、綱紀肅正ト  
ハドレナコトカ、私ハ文字ノ上ニ於テ解釋  
致シマスルナラバ、若シ一例ヲ舉ゲマスル  
ナラ政友會、此政友會並ニ本黨ガ協議セラ  
レテ三ツノ問題ノ妥協ヲ遂ゲラレタ、綱紀  
肅正——綱紀肅正ト云フモノハ若シ——今  
日帝國議會ノ信用ガ失墜致シ、國民ガ議會  
ヲ信用シタイト云フコトハ、最早言葉デハ  
申サナクトモ諸君ハ知テ居ル筈デアアル、政  
友會ノ總裁ニ於カセラレテハ、最も戰ハ六  
分デアアル、後ノ四分ハ意氣ヲ以テ戰ハバ勝  
ツノデアアルトマデ極言サレテ居ル、政治ヲ  
私議スルト云フコトハ即チ此議會ノ權利ア  
ル所ノ、審議シナケレバナラヌ所ノ義務ヲ

拋棄致シテ、徒ニ政治ヲ私議スルモノデア  
ルト私ハ極言スルノデアアル(拍手) 深甚ナル考  
慮ノ下ニ、龍虎ノ如キ政友會ノ勢ハ俄ニ狐  
狸ト變リ、向ホ其上ニ兔ノ如ク變タノデ  
アリマス(笑聲) 而モ綱紀肅正ナルコトヲ口  
ニスルナラバ、自分ノ秘書官ノ直訴問題、  
事皇室ニ關スル重大ナル所ノ責任ノアル被  
疑者ガ、此議會ニ議席ヲ有シテ居ルノデア  
リマス(默レ) 議長々々々 其他發言スル者  
多シ

○議長(粕谷義三君) 田崎君ニ注意シマ  
ス、議事ノ進行ノ範圍外ニ涉ラナイヤウニ  
御注意ヲ願ヒマス

○田崎信藏君(續) 宜シイ、三黨首ノ會合  
ニ依テ、政策以上ノ重大問題デアナイ、  
國民ノ生活ヲ脅威スル所ノ不景氣ノ挽回ヲ  
スルト云フナラバ、何カ策ガナケレバナラ  
ス、然ルニソレヲ示サズシテ、豫算ノ審議  
期間ヲ成ベク短縮シテ、質問モ許サナイデ  
以テ、勝手ニ那樣ナ事ヲ早ク決メテシマ  
フト云フニ至ッテハ、國民ニ對シテ——諸君  
等ハ吾輩ニ向テ彌次ヲ飛バステレドモ、  
良心ガアルナラバ暫ク天ノ聲ナリトモシテ  
聽クガ宜シイ、(拍手) 私ハ此意味ニ於テ今期  
議會ハ國民ノ期待スル重大ナル所ノ案件ガ  
多イノデアリマス、然ルニ此案件ヲ審議シ  
ナイデ以テ徒ニ政治ヲ私議致シテ、政友會ノ  
政治ノ如ク致スニ至ッテハ、此罪ヲスベカ  
ラザルモノデアリマス、而モ尙且ツ鳩山一  
郎君ノ此壇上ニ於テ、政府ノ秘密書類ヲ院  
議ニ依テ此衆議院ニ提出スベシトマデノ  
決議案ヲ出シタ、苟モ此院議ヲ尊重スルナ  
ラバ、賛成シタルガ故ニ(賛成シタルノデヤ  
ナイカ)ト呼フ者アリ) 其結果ヲ問フダ、贊  
成シタル故ニ結果ヲ問フノダ、默レ——  
私ハ院議ヲ尊重スルコトガ政治家ノ最も公  
明ナル道デアアルト思フノデアアル、然ルニ

二

何等此公明ナル所ノ行爲ヲ致サズシテ、闇カラ闇ニ弄テ、唯、政權ノ授受ヲ目的トスル所ノ憲法上ノ大罪惡ヲ爲ス所ノ人々ニ依テ、國民ノ期待スル所ノ議會ハ全ク蹂躪サレト思フノデアリマス、此意味ニ於テ、議長ハ此豫算審議期間ニ對シテ如何ナル御考ガアルカ、若シ此事ガ分ラナイナラバ院議ニ問ハレシコトヲ望ム所以デアリマス、以テ私ハ議事進行ニ付テ發言シタノデアリマス(拍手、發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス——田崎君ニ御答ヲ致シマス、只今田崎君ハ停會ト豫算期間ノ關係如何ト云フコトニ付テ、議院法ノ解釋ニ對スル議長ノ意見ヲ御尋ニナツタヤウデアリマス、此場合ニ於キマシテ議院法ノ解釋ニ付テ議長ノ意見ヲ申述ベル必要ハナイト思フノデアリマス、又之ヲ申述ベマシテモ何等效力ノ無イモノデアラウト議長ハ考ヘルノデアリマス、ソレ故ニ此問題ニ付キマシテハ今後實際問題ニ逢着致シマシタ場合ニ、院議ニ依テ之ヲ御決シニナルノガ相當デアラウト考ヘルノデアリマス、以上御答致シマス

〔議長々々〕議事ノ進行ニ付テト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 田崎君  
○田崎信藏君 今議長ノ御答辯ニ依リマスルト、實際問題ニ到著シタナラバト言ハレマスケレドモ、今實際問題ニ付テ本員ハ議事ノ進行ニ付テ議長ノ意見ヲ求メタノデアリマス、重ネテ明快ナル御答辯ヲ請ヒマス

○議長(粕谷義三君) 尙ホ御答申上ダマス、議長ガ……(發言スル者多ク議場騒然)

靜肅ニ願ヒマス——靜肅ニ願ヒマス——靜肅ニ願ヒマス——田崎君、御著席下サイ——古川君御著席ナサイ——御著席ヲ願ヒマス(議長々々)其他發言スル者多ク議場騒然) 御著席ヲ願ヒマス——古川君、靜肅ニ願ヒマス(議長々々)ト呼フ者アリ) 靜肅ニ願ヒマス——古川君ニ退場ヲ命ジマス

〔田崎信藏君議長、議事ノ進行ニ付テ重ネテ發言ガアリマス〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ

言スル者多シ) 靜肅ニ願ヒマス——靜肅ニ願ヒマス(議長々々)ト呼フ者アリ) 古川清君ニ退場ヲ命ジマス、古川君、議長ハ甚ダ遺憾デアリマス古川清君ニ退場ヲ命ジマス(贊成)ト呼ヒ拍手起ル) 靜肅ニ願ヒマス——田崎君……

○田崎信藏君 議長——議事進行ニ付テ……

〔議長田崎君ニ退場ヲ命ジナサイ〕議長々々其他發言スル者多ク議場騒然)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

〔田崎君ニ退場ヲ命ジナサイ〕議長々々退場スル必要ナシ)「必要ガアル」ト呼フ者アリ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス(議長ハ公平ダ)ト呼フ者アリ) 諸君、靜肅ニ願ヒマス——田崎君ニ重ネテ御答ヲ致シマス、議長ガ實際問題ト申シマシタノハ、即チ豫算委員會ニ於ケル審議ノ經過ヲ指スノデアリマス、故ニ此問題ハ或ハ豫算審査ノ期間ガ不足スルト云フヤウナコトデアリマスルナラバ、自然豫算委員會ニ於テ其問題ガ起ルデアラウト思フノデアリマス、議長ハ總テ其經過ヲ俟チマシタ上ニ於テ、院議ニ依テ之ヲ決スルノ外ハナイト思フノデアリマス、是ダケノコトヲ御答致シマス

——田淵豊吉君ヨリ議事進行ニ關スル發言ヲ、求メラレテ居リマス、田淵豊吉君

〔田淵豊吉君登壇〕

○田淵豊吉君 諸君、私ハ一言議事進行ニ付テ、田崎君ノ發言モゴザイマシタカラ、議長ニ重ネテ問ヒタイノデアリマス、諸君暫ク靜肅ニ願ヒタイ、ソレハ第一議長ニ問キタイノハ、過日モ聞キマシタガ、議院法ノ解釋ノコトハ總テ議長ハ解釋權ガアルノカナイノカト云フコトヲ聞キタイノデアリマス、唯、事實上ノ問題ニ之ヲ委シテ置クノデアルカドウカト云フコトヲ聞キタイ、今實際問題ニ當テ居ルニ拘ラズ、實際問題ヲ知ラヌト云フノハ私當ラヌコト、思フノデゴザイマス、故ニ議長ハ議院法ノ解釋ハ

交涉會トカ、院議決マルモノデ、議長ハ何等此解釋權ガナイト云フコトヲ仰シヤルノカドウカト云フコトヲ聞キタイ、田崎君ハ内容論、動機論ニ付テ之ヲ論ゼラレタ、ソレハ澤山意味ガゴザイマセウ、私ハソレヲ言フノデアゴザイマセウガ、法規上カラドウ取扱フカト云フ問題デアル、所ガ議長ハ曩ニハソレハ知ラヌト答ヘラレタ、今回再ビ田崎君ノ逆襲ニ遭ウテ、豫算委員會デ審査シテ居ルカラ其結果ニ依テト云フコトハ、前ニ私ニ答ヘラレナイコトヲ今答ヘラレテ居ルノデアアテ、一寸其處ハ曖昧デアルヤウニ私ハ思フ、ソレ故ニ議長ハ私ノ見解カラスレバサウデアルガ、彼ノ人達ハソレヲ聴カヌノデアアテ、私ノ權限ハソレニ及バヌト云フコトヲ明ニスル必要ガアルト思フ、法律問題ハ事實デヤナイ、事實ガ具體化シタルモノヲ法律ニ於テドウスルカト云フコトガ、法規ノ觀念ノ上ニ在ルノデアゴザイマセウカ、ソレハ憲法デモ議院法デモ何處ニアルカ、ソレハ事ハ大空ノ上ニ掲ゲタルモノデアハナイ、吾々人間ノ規定ニアル所デアアル、規定ト事實トハ別問題デアアル、法規ノ適用ト具體的事實ト云フコトハ別ト問題デアラウト思フ、サウ云フコトヲ言ツタナラバ、事實論デ押通シテ強イ者ガ勝ツト云フコトニナルト思ヒマス、議長ハ果シテ此議院法ニ對スル解釋權ヲ持テ居ナイモノデアアルカドウカ、又現在差迫テ居ル問題ニ付テ、ドウ云フヤウナ考ヲ法規ノ適用ノ上ニ於テ持テ居ルカト云フコトヲ聞キタイノデアリマス、田崎君ノ意見トハ違ヒマス、彼ハ内容論ヲ説キ、動機論ヲ説イテ居ルヤウニ思フ、私ハ寧ろ口色ニナ不便モゴザイマセウケレドモ、是ハ矢張二十一日間ト規定シテ居ル以上ハ、七日ニ限ラレルガ相當デアハナイカト私ハ思ウテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、其點ヲ議長カラ後來誤リノナイヤウニ明ニシテ戴キタイト思フ、一寸一言……

○議長(粕谷義三君) 田淵君ノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマス、既ニ繰返シ申上ダテ置キマシタ如ク、議院法ノ解釋ニ付此場合

議長ノ考ヲ申述ベル必要ハナイト思フノデアリマス、是ダケノ事ヲ御答シテ置キマス(田淵豊吉君理由ヲ明ニセヨト呼フ)是ヨリ日程ニ入りマス、日程第一、河川法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、内務大臣臨時代理安達謙藏君

第一 河川法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

河川法中改正法律案 第一讀會

河川法中左ノ通改正ス

第六條中「但シ」ノ下ニ「主務大臣カ自ラ河川ニ關スル工事ヲ施行シタルモノニ付必要ト認ムルトキ又ハ」ヲ加フ

第五十八條中「二百圓以内ノ罰金若ハ一年以下ノ禁錮」ヲ「一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金」ニ改ム

第六十六條ヲ削ル

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣安達謙藏君登壇〕

○國務大臣(安達謙藏君) 私ハ茲ニ河川法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ簡單ニ説明申上ダマス、現行ノ河川法ニ於キマシテハ、主務大臣ガ地方行政廳ニ代リマシテ、河川ノ管理又ハ維持修繕ヲ爲シ得マスルコトハ、他府縣ノ利益ヲ保全スル爲ニ必要ト認メラレタル場合ニ限ツテ居リマス、然ルニ主務大臣ガ直接施行致シタル河川工事ノ完成後ニ於キマシテ、尙ホ其工事ノ效果ヲ全ウスル爲ニ、二府縣ニ互リマセヌ所ノ河川ト雖モ、矢張主務大臣ニ於テテ續イテ其管理又ハ維持修繕ヲ爲スヲ必要トスルモノガゴザイマス、是ガ本改正案ヲ提出スル理由デゴザイマス、何卒極ク簡單デゴザイマスカラ、速ニ御協賛アラントヲ希ヒマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 此案ニ對シテハ數名ノ質疑ノ通告ガアリマス——一寸誤リマシタ、日程第一、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第一讀會 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉



者以外ノ者又ハ委託者ト委託者以外ノ者トカ元本ノ受益者又ハ歸屬權利者ナル信託ニシテ信託財產ノ處分ヲ目的トスルモノ

不動產 不動產價格 千分ノ四十五

但シ神社、寺院、祠宇、佛堂又ハ民法第三十四條ニ依リ設立シタル法人カ元本ノ受益者又ハ歸屬權利者ナルトキハ千分ノ二十

三 委託者以外ノ者又ハ委託者ト委託者以外ノ者トカ元本ノ受益者又ハ歸屬權利者ニシテ委託者以外ノ者又ハ委託者ト委託者以外ノ者トカ收益ノ受益者ナル信託

不動產 不動產價格 千分ノ四十五

但シ神社、寺院、祠宇、佛堂又ハ民法第三十四條ニ依リ設立シタル法人カ元本ノ受益者又ハ歸屬權利者ナルトキハ千分ノ二十

三 委託者以外ノ者又ハ委託者ト委託者以外ノ者トカ元本ノ受益者又ハ歸屬權利者ニシテ委託者以外ノ者又ハ委託者ト委託者以外ノ者トカ收益ノ受益者ナル信託

不動產 不動產價格 千分ノ四十五

但シ神社、寺院、祠宇、佛堂又ハ民法第三十四條ニ依リ設立シタル法人カ元本ノ受益者又ハ歸屬權利者ナルトキハ千分ノ二十

五 船舶 船舶價格 千分ノ三十五

前項第一號ノ信託ニ付信託ノ登記事項ヲ變更シタル爲前項第二號又ハ第三號ノ信託ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ變更ノ登記ヲ以テ委託者ノ所有權取得ノ登記ト看做シ前項第二號又ハ第三號ノ規定ヲ適用ス

第三條ノ三 前條第一項各號ニ該當セザル信託(委託者カ收益ノ受益者ニシテ委託者以外ノ者又ハ委託者ト委託者以外ノ者トカ元本ノ受益者又ハ歸屬權利者ナル信託ニシテ信託財產ノ管理ヲ目的トスルモノ及委託者カ信託利益ノ全部ヲ受クヘキ信託)ニ因リ不動產又ハ船舶ヲ委託者ヨリ受託者ニ移ス場合ニ於ケル所有權取得ノ登記ニ付テハ登録稅ヲ課セス但シ信託ノ登記事項ヲ變更

シタル爲前條第一項各號ノ信託ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ變更ノ登記ヲ以テ受託者ノ所有權取得ノ登記ト看做シ前條ノ規定ニ依リ登録稅ヲ納ムヘシ

第三條ノ四 委託者カ收益ノ受益者ニシテ委託者以外ノ者又ハ委託者ト委託者以外ノ者トカ元本ノ受益者又ハ歸屬權利者ナル信託ニシテ信託財產タル不動產又ハ船舶ノ管理ヲ目的トスルモノニ付其ノ元本ヲ受託者ヨリ受益者又ハ歸屬權利者ニ移ス場合ニ於ケル所有權取得ノ登記ニ付テハ左ノ登録稅ヲ納ムヘシ

不動產 不動產價格 千分ノ四十五

但シ神社、寺院、祠宇、佛堂又ハ民法第三十四條ニ依リ設立シタル法人カ元本ノ受益者又ハ歸屬權利者ナルトキハ千分ノ二十五

船舶 船舶價格 千分ノ三十五

受託者ヨリ受益者又ハ歸屬權利者ニ不動產又ハ船舶ヲ移ス場合ニ於ケル所有權取得ノ登記ニ付テハ前項ニ該當スル場合ノ外登録稅ヲ課セス

第三條ノ六 工場財團登記簿、礦業財團登記簿又ハ漁業財團登記簿ニ登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

一 抵當權ノ取得 債權金額 千分ノ一

二 信託ノ登記 債權金額 千分ノ一

三 競賣、強制管理ノ申立 債權金額 千分ノ一

四 假差押、假處分 債權金額 千分ノ一

五 抵當アル債權ノ差押 債權金額 千分ノ一

六 滯納處分以外ノ原因ニ因ル權利ノ處分ノ制限ニシテ特ニ掲ケサルモノノ債權金額 千分ノ一

七 抹消シタル登記ノ回復 每一件 金一圓

八 假登記 每一件 金一圓

九 附記登記 每一件 金二圓

十 登記ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二圓

第五條 創除

第六條中「千分ノ四」ヲ「千分ノ五」ニ、「十五圓」ヲ「二十圓」ニ、「七圓」ヲ「十圓」ニ、「五圓」ヲ「七圓」ニ、「一圓五十錢」ヲ「二圓」ニ改ム

第六條第一項第九號ヲ左ノ如ク改ム

九 合併又ハ組織變更ニ因ル會社ノ設立 拂込株金額及財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格 千分ノ一

但シ合併ニ因リ消滅シタル會社又ハ組織變更ヲ爲シタル會社ノ合併當時又ハ組織變更當時ノ拂込株金額及財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格ヲ超過スル金額ニ付テハ千分ノ五

第六條第一項第十號ヲ左ノ如ク改ム

十 合併ニ因ル會社資本ノ増加 增資拂込株金額及財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格 千分ノ一

但シ合併ニ因リ消滅シタル會社ノ合併當時ノ拂込株金額及財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格ヲ超過スル金額ニ付テハ千分ノ五

第六條第一項第十一號ヲ左ノ如ク改ム

十一 社債又ハ第二回以後ノ社債拂込 商法第二百四條ノ拂込アリタル日(賣出ノ方法ニ依リ發行シタル場合ニ於テハ賣出満了ノ日)ヨリ最終ノ償還期限ニ至ル期間一年以下ノモノ 毎回拂込金額 千分ノ一

同三年以下ノモノ 毎回拂込金額 千分ノ二

同三年ヲ超ユルモノ 毎回拂込金額 千分ノ三

但シ產業債券、農工債券、北海道拓殖債券、興業債券、勸業債券又ハ東洋拓殖債券ニ付テハ千分ノ二

第六條第二項中「登録稅ヲ納ムヘシ」ノ下ニ「朝鮮、臺灣、關東州、樺太若ハ南洋群島ニ於ケル法人又ハ外國會社カ登記ヲ受クルトキ亦同シ」ヲ加フ

第六條ノ二中「七圓」ヲ「十圓」ニ、「三圓」ヲ「五圓」ニ、「一圓五十錢」ヲ「二圓」ニ、「七十錢」ヲ「一圓」ニ改ム

第十條中「千分ノ六」ヲ「千分ノ五・五」ニ改ム

第十一條第一項中「千分ノ六」ヲ「千分ノ五・五」ニ改ム

第七 代理人ノ選任又ハ代理權ノ登錄 每一件 金五十錢

八 抹消シタル登記ノ回復 每一件 金五十錢

九 假登記 每一件 金五十錢

第十一條第二項ヲ削ル

第十二條第一項中「千分ノ六」ヲ「千分ノ五・五」ニ改ム

第六號ヲ第十號トシ第五號ヲ第六號トシ第六號ヲ次ニ左ノ三號ヲ加フ

七 代理人ノ選任又ハ代理權ノ登錄 每一件 金五十錢

八 抹消シタル登記ノ回復 每一件 金五十錢

九 假登記 每一件 金五十錢



第四 印紙税法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

印紙税法中改正法律案 第一讀會

第二條 削除

第四條 左ニ掲クル證書、帳簿ニ關シテハ證書ハ一通毎ニ、帳簿ハ一冊一年以内ノ附込ニ對シ左ノ印紙稅ヲ納ムヘシ

- 一 不動産、鐵道財團、軌道財團又ハ船舶ノ所有權移記載金高五十圓以下ノモノ 二錢
- 二 消費貸借ニ關スル證書 三錢
- 三 請負ニ關スル證書 十錢
- 四 運送ニ關スル證書 二十錢
- 五 備船契約書 五十錢
- 六 委任狀 一圓
- 七 約束手形 一圓
- 八 爲替手形 一圓
- 九 銀行預金證書 一圓
- 十 產業組合又ハ產業組合聯合會ノ發スル貯金證書 一圓
- 十一 產業組合聯合會、重要輸出品工業組合、重要輸出品工業組合聯合會又ハ輸出組合ノ發スル出資證券 一圓
- 十二 船荷證券 一圓
- 十三 運送貨物引換證 一圓
- 十四 倉庫證券 一圓
- 十五 保險證券 一圓
- 十六 株券 一圓
- 十七 債券 一圓
- 十八 相互保險會社ノ發スル基金證券 一圓
- 十九 株式申込證 一圓
- 二十 社債申込證 一圓
- 二十一 地上權、永小作權又ハ地役權ニ關スル證書 一圓
- 二十二 使用貸借、賃貸借、雇傭、寄託又ハ定期金ニ關スル證書 一圓
- 二十三 信託行爲ニ關スル證書 一圓
- 二十四 無盡ニ關スル證書 一圓
- 二十五 定款又ハ組合契約書 一圓
- 二十六 權利ノ變更ニ關スル證書 一圓
- 二十七 追認又ハ承認ニ關スル證書 一圓
- 二十八 物品切手 一圓
- 二十九 受取書 一圓
- 三十 質權、抵當權ニ關スル證書 一圓
- 三十一 前各號以外ノ證書 一圓
- 三十二 預金通帳 一圓
- 三十三 前號以外ノ通帳 一圓
- 三十四 判取帳 一圓

同百圓以下ノモノ 三錢  
同五百圓以下ノモノ 十錢  
同千圓以下ノモノ 二十錢  
同一萬圓以下ノモノ 五十錢  
同一萬圓ヲ超スルモノ 一圓  
記載金高ナキモノ 二錢

三錢

五錢  
五十錢

證書ニ金高記載ナキモノ證書面ニ標記シアル價額ノ單位其ノ他ノ記載事項ニ依リ其ノ金高ヲ算出スルコトヲ得ルモノハ其ノ總金額ヲ以テ記載金高ト看做ス

- 第五條中第六號、第八號、第十一號、第十二號及第十三號ヲ各左ノ如ク改ム
- 六 產業組合ノ發スル出資證券若ハ貯金通帳又ハ住宅組合ノ發スル出資證券
- 八 貯金通帳、積金通帳又ハ積金證書(貯蓄銀行法第一條ノ貯金又ハ積金ニ付發スルモノニ限ル)
- 十一 賣買仕切書
- 十二 物品又ハ有價證券ノ賣買契約證書
- 十三 送狀
- 第五條ニ左ノ五號ヲ加フ
- 二十一 農業倉庫證券又ハ聯合農業倉庫證券
- 二十二 質札又ハ質物通帳(質屋營業者ノ限)
- 二十三 勤務通帳
- 二十四 乘車券、乘船券又ハ各種入場券
- 二十五 第四條第一號乃至第五號及第三十一號ノ證書ニシテ記載金高十圓未滿ノモノ

第十條中「帳簿、賣買仕切書、送狀」ヲ「證書、帳簿ニシテ營業ニ關スルモノ」ニ改ム

附則  
本法ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
本法施行前作成シタル證書又ハ帳簿ノ印紙稅ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

- 第五 砂糖消費税法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 砂糖消費税法中改正法律案
- 砂糖消費税法中左ノ通改正ス
- 第三條 消費稅ノ割合左ノ如シ
- 一 砂糖
- 第一種 砂糖色相和蘭標本第十一號 未滿ノ砂糖

甲 樽入黑糖 百斤ニ付 一圓  
乙 樽入白下糖但シ分蜜シタルモノ、白下糖以外ノ砂糖ニ加工シテ製造シタルモノ及全部又ハ一部ノ新式機械ニ依リ製造シタルモノヲ除ク 百斤ニ付 二圓

丙 其ノ他ノモノ 百斤ニ付 二圓五十錢  
第二種 砂糖色相和蘭標本第十八號 未滿ノ砂糖 百斤ニ付 五圓  
第三種 砂糖色相和蘭標本第二十二號 未滿ノ砂糖 百斤ニ付 七圓三十五錢  
第四種 砂糖色相和蘭標本第二十二號以上ノ砂糖 百斤ニ付 八圓三十五錢  
第五種 水砂糖、角砂糖、棒砂糖其ノ他類似ノモノ 百斤ニ付 十圓

二 糖蜜  
第一種 水砂糖ヲ製造スルトキニ生スル糖蜜 甲 糖分ヲ蔗糖トシテ計算シタル重量全重量ノ百分ノ七十七ヲ超エサルモノ 百斤ニ付 三圓  
乙 其ノ他ノモノ 糖分ヲ蔗糖トシテ計算シタル重量百斤ニ付八圓三十五錢ノ割合ヲ以テ算出シタル金額

第二種 其ノ他ノ糖蜜 甲 糖分ヲ蔗糖トシテ計算シタル重量全重量ノ百分ノ六十七ヲ超エサルモノ 百斤ニ付 一圓  
乙 其ノ他ノモノ 百斤ニ付 二圓五十錢  
三 糖水 百斤ニ付 七圓三十五錢  
附則  
本法ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

左ニ掲タル砂糖、糖蜜又ハ糖水ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

一 本法施行前消費稅ヲ課スヘカリシモノ

二 本法施行前製造場若ハ保税地域ヨリ引取リ又ハ製造場外ニ移出シタルモノニシテ砂糖消費稅法第五條第三項、第七條第三項又ハ第十一條ノ一項、第三項ノ規定ニ依リ消費稅ヲ徵收スヘキモノ

三 本法施行前消費稅ノ徵收ヲ猶豫シタルモノ

第六 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

關稅定率法別表輸入稅表中左ノ通り改正ス

第四十號ヲ左ノ如ク改ム

四〇 砂糖

一 和蘭標本色相 第一號未滿 每百斤二・五〇

二 和蘭標本色相 第二十二號未滿 每百斤三・九五

三 其ノ他 每百斤五・三〇

二百四十四號中「每百斤」ヲ削リ「二二八・〇〇」ヲ「無稅」ニ改ム

附則 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣片岡直溫君登壇〕

○國務大臣(片岡直溫君) 只今議題トナリマシタ登録稅法中改正法律案外三件ノ法律案ニ付キマシテ、大體ノ説明ヲ致シマス、我國多年ノ懸案デゴザイマシタ稅制ノ整理ハ、前期議會ノ協贊ヲ經テ既ニ實施セラレ、我方國民相稅負擔ノ公平ヲ得ルニ至リマシタコトハ、諸君ト共ニ邦家ノ爲メ慶賀ニ堪ヘヌ所デゴザイマス、昨年一般ノ稅制整理ニ際シマシテ、整理ヲ行ハナカッタ稅ニ付キマシテハ、政府ハ調査考究ノ上、今期議會ニ成案トシテ提出シタイ希望ヲ述ベテ置イタノデゴザイマス、登録稅、印紙稅及砂糖消費稅ニ付キマシテハ、政府ハ慎重調査ノ結果、成案ヲ得ルニ至リマシ

タカラ、茲ニ登録稅法中改正法律案外三件ノ法律案ヲ提出致シマス、諸君ノ御協贊ヲ求ムル次第デゴザイマス、是等相稅ノ改正ニ當リマシテハ、我國現下ノ財政狀態ニ照シ、其認奪得シベキ範圍内ニ於テ國民負擔ノ均衡ヲ圖ルト共ニ、成ベク社會政策的ノ效果ヲ舉ゲ、産業ノ發達ニ資シ、且ツ官民相互ノ手數ヲ省略致シマシテ、稅務行政實行上ノ便宜ヲ圖ルコトニ努メタノデアリマス、其結果半年度ニ於キマシテ登録稅ノ改正ニ因リ二百二十三萬三千圓、印紙稅ノ改正ニ因リ四百四十七萬千圓、砂糖消費稅ノ改正ニ因リ四百三十三萬八千圓、合計七百八十四萬二千圓ノ減稅トナル計算デアリマス、尤モ砂糖ニ付キマシテハ關稅徵收ノ爲メ二百四十八萬三千圓ノ增收トナリマシテ、差引百六十五萬五千圓ノ減稅トナリマスノデ、結局ニ於キマシテハ第二次稅制整理及砂糖關稅ノ改正ニ因リマシテ、半年度ニ於キマシテハ五百三十五萬八千圓ノ減收トナル見込デアリマス、先ツ登録稅ニ付テ申シマスレバ、現行登録稅法ハ明治二十九年ノ立法ニ係リマシテ、明治三十二年根本的ニ改正セラレマシタ、其後日露戰爭ノ當時非常特別稅ノ増徴ガアリマシタガ、爾來今日ニ至ルマデ全般的ニ改正ヲ行ハタコトガナイノデアリマス、隨テ時勢ノ變遷ニ依リ課稅ノ權衡ヲ失スルモノヲ生ジマシテ、相當改正ヲ加ヘルノ必要ヲ認メタノデアリマス、今回改正ノ主要ナル點ヲ舉ゲテ見マスレバ、第一、不動産及船舶ニ對スル稅率ハ大體過重デアルト認メラレマスノデ、其所有權ノ移轉、質權、抵當權ノ取得等、各々ノ場合ニ於キマシテ相當稅率ヲ輕減致シ、第二、法人ノ合併ハ我國現下ノ經濟狀態ニ於キマシテハ、之ヲ獎勵スベキモノト認メテ居ルノデアリマシテ、之ニ對スル稅率ヲ相當輕減スルコトニ致シタノデゴザイマス、第三、不動産信託ニ付キマシテハ現行法ハ信託ノ當初ニ際シ、高率ナル稅率ヲ以テ課稅致シマスルガ爲メ、十分ニ之ヲ利用スルヲ得ザル虞ガアルノデアリマスガ、今回改正ニ當リマシテハ信託ノ内

容ニ依リマシテ其稅率ヲ區分シ、出來得ル限リ信託ノ發達ヲ阻害セザランコトヲ期シタノデアリマス、第四ニ社會政策的並ニ公共的施設遂行ノ場合ニ於キマシテ、登録稅ヲ課セザルヲ相當ト認メタルモノ、即チ自作農ノ創設維持事業ニ關スル場合、農業倉庫建設ノ場合、小住宅建設ノ場合、部落有財產ヲ其市町村ニ移ス場合、數箇町村ニ互入會權ヲ消滅セシメル場合、學校經營ヲ目的トスル法人ノ不動産取得ノ場合等ニハ各々法令ノ定ムル所ニ依リ、登録稅ヲ免除スルコトニ致シタノデアリマス、第五、土地臺帳ノ登録稅ハ之ヲ廢止スルコトニ致シタノデアリマス、土地臺帳ノ登録稅ハ稅額ハ僅少デアアルノミナラズ、官民共ニ相當ニ手數ヲ要シマスノデ、之ヲ廢止スルヲ適當ト認メタノデアリマス、第六、以上述べマシタ改正ニ依ル歲入ノ減少ノ一部ヲ補填シ、且ツ負擔ノ均衡ヲ圖ランガ爲メ商業登記其他ニ付テ稅率ノ引上ヲ行フコトニ致シマシタ、即チ合名會社、合資會社ノ設立、資本增加ニ付テハ之ヲ株式會社ト同様ノ稅率ニ改正スルコトニ致シ、社債ノ登記ニ付キマシテハ償還期限ノ長短ニ依リ稅率ヲ區別シ、負擔ノ均衡ヲ得セシムルコトニ致シ、商業登記、其他一部ノ定額稅ニ付キマシテハ相當稅率ノ引上ヲ行フコトニ致シマシタ、是等ノ定額稅ハ何レモ其稅率實施以來十數年以上ノ歲月ヲ經過シ、時勢ノ變遷ト共ニ相當之ヲ引上グルモ不可ナシト認メタノデアリマス、次ニ印紙稅ノ改正ニ付テ申上ゲマス、印紙稅ニ付キマシテハ從來屢改正セラレマシタ、大正十二年ニ於テモ二、三重要ナル改正ガ加ヘラレタノデアリマスガ、今回調査研究ノ結果ハ、更ニ印紙稅ヲ根本的ニ改正スルノ必要ヲ認メタノデアリマス、第一現行ノ印紙稅法ハ、比例稅ト定額稅トヲ併用スルノ制度デアリマスガ、比例稅ハ實際ニ於キマシテ官民共ニ手數ヲ要スルノミナラズ、知ラズ識ラズノ間ニ脫稅ヲ誘致スルノ虞ガ多クゴザイマシテ、却テ負擔ノ公平ヲ得難イノデアリマスカラ、之ヲ改メマシテ從來比例稅ヲ課シテ居リマ

品デアリマスノデ、社會政策上ノ見地ヨリシマシテ、之ニ對シマシテ相當ノ減稅ヲスルコトニ致シタノデアリマス、第一種糖ノ中、樽入黑糖ハ其大部分ガ沖繩縣及大島ニ於テ生産サレマスノデ、旁、同地方ノ經濟上ニモ相當ノ好影響アルコト、考ヘルノデアリマス、第二ニ現行法ニ依ル第二種糖、第三種糖ハ、之ヲ併セテ同一種別ト致シマシタ、現行第二種ノ稅率ヲ適用スルコト、致シマシタ、現行第四種糖ニ對シマシテハ、稅率ヲ輕減スルコトニ改正致シタノデアリマス、現行稅率制定當時ニ於キマシテハ糖業ノ技術未ダ進歩セズ、自然ニ生産セラル、所謂粗糖ハ、主トシテ第二種糖ニ屬シタノデアリマス、然ルニ其後糖界ハ大ニ發達致シマシテ、自然ニ上種別ノ砂糖ガ生産セラル、ニ至ラニ拘ラズ、稅法ノ改正ガ之ニ伴ハザリシ爲ニ、故意ニ著色シテ第二種糖ト爲シ、輕率ノ課稅ヲ受クルノ弊ヲ生ジマシタ、延イテ産業上ニモ支障ヲ來タシツ、アルノデアリマス、今回ノ改正ニ當リマシテハ、是等産業上ノ支障弊害ヲ除去矯正ニ努メマス同時ニ、我國砂糖生産ノ狀況並ニ各種砂糖ニ對スル稅率ノ按配等ヲ考慮致シマシテ、適當ニ稅率ヲ定メタノデアリマス、第三ニ現行法ニ依ル第五種糖ニ對シマシテハ、一方關稅ニ於キマシテ幾分ノ增徴ヲ致シテ居リマスケレドモ、消費稅ニ於テ其稅率ヲ引下ゲ、成ベク國民ノ負擔ヲ輕減セントコトヲ期シタノデアリマス、現行第六種糖ハ水砂糖、角砂糖等デアリマシテ、稍奢侈的消費ニ屬シマスノデ、其稅率ハ之ヲ據置クコトニ致シタノデアリマス、糖蜜ニ付キマシテハ、砂糖ノ稅率改正ニ準ジテ稅率ノ改正ヲ加ヘタノデアリマス

○川原茂輔君 是ヨリ豫算委員會ヲ開キマス、ドウゾ御出デテ願ヒマス

○國務大臣(片岡直温君)續) 次ニ關稅定率法中改正法律案ニ對シテ提出ノ理由ヲ說明致シマス、政府ハ昨年第五十一議會ノ協賛ヲ經マシテ、多年ノ懸案デアリマシタル關稅定率ノ一般改正ヲ行ヒマシタガ、當時砂糖類ノ關稅率ハ、第二次稅制整理ノ問題

タル砂糖消費稅ト併セテ之ヲ攻究スルノ適當ナルヲ認メマシテ、之ガ稅率ニ手ヲ觸レナカッタノデアリマス、然ルニ御承知ノ通り第五十一議會ニ於テ、右法律案ノ協賛ニ當リマシテ、貴衆兩院共ニ砂糖類以外ノ數多ノ物品ニ對シテ、附帶希望又ハ希望決議ヲ附シ、特ニ衆議院ニ於テハ數十種ノ物品ノ關稅率ハ之ヲ關稅常設委員會ニ付議シテ、慎重審議ノ上之ヲ次期議會ニ提案シ、適當ニ改正セラレタキ旨ヲ希望ヲ表明セラレタノデアリマス、政府ハ右等ノ經緯ニ鑑ミマシテ、關稅調查委員會ニ對シテ砂糖類及右等物品ノ關稅率等ニ關シマシテ、諮問ヲシタノデアリマスガ、同委員會ハ爾來慎重審議ヲ重ネマシテ、砂糖類及右等物品中ノ或物ニ對シマシテ既ニ審議ヲ了シマシタ、砂糖及酸化「コバルト」ニ付テハ、其稅率ヲ改正スルノ要アリトシ、且ツ稅率ノ程度等ニ付テモソレト答申スル所ガアッタノデアリマス、ソコデ政府ハ右ノ答申ヲ慎重考慮致シマシタガ、何レモ適當ナモノト認メマシタガ故ニ、茲ニ本改正法律案ヲ提出スルニ至ラタ次第デアリマス、今本案ノ内容ニ關シマシテ大要ノ說明ヲ致シマスレバ、第一砂糖ニ對スル現行稅率ハ、明治四十三年我ガ糖業保護ノ趣旨ニ於テ制定セラレタモノデアリマシテ、實施以來既ニ十數年ノ歲月ヲ經過致シマシタガ、此間ニ於テ内外ノ糖業ハ著シキ發達ヲ遂ゲマスルト共ニ、其需給ノ狀態ニモ多大ノ變化ヲ見タノデアリマス、殊ニ我ガ臺灣ノ糖業ハ領臺以來著シキ發達ヲ遂ゲマシテ、其產額ハ現今八億斤以上ニ達スルコト、ナッタノデアリマス、併ナガラ我國ニ於ケル砂糖ノ需要ハ、未ダ内地產ノミヲ以テ之ヲ充スコトハ出來ナイノデアリマシテ、年々多額ノ外國糖ノ輸入ヲ仰グノ實情ニ在ルノデアリマス、我國砂糖ノ需給ノ狀況ハ大體右ノ通りデアリマシテ、我ガ重要産業ノ一タル粗糖業及精糖業ニ對シ、共ニ適當ノ保護ヲ加ヘマスルコトハ、極メテ肝要ナル事柄ト信ズルノデアリマス、併ナガラ他面ニ砂糖ハ元來國民ノ主要食料品ノ一デアリマシテ、現ニ其消費額ハ多額ニ上ラテ居リマス、而モ將來益々増進スベキモ

ノデアリマスカラ、成ベク之ヲ安價ニ供給セシムルコトモ亦等シク肝要ナル事項デアリマス(拍手)然ルニ砂糖ニ對スル現行稅率ヲ見マスルニ、和蘭標本ヲ標準ト致シマシテ、之ヲ五種ニ區別シテ各、從量稅ヲ課シ、以テ我ガ糖業ノ保護ヲ致シマスルト同時ニ、他方輸出獎勵ノ趣旨ノ下ニ、輸出糖ノ原料タル輸入糖ニシテ、色相第十八號未滿ノモノニ對シテハ、其輸入稅ヲ免除スルコト、致シテ居ルノデアリマス、而シテ是等外國ヨリノ輸入糖ハ、製糖技術ノ進歩ニ伴ヒマシテ、漸次其色相ヲ高ムルコト、ナリ、近時ニ於キマシテハ、主トシテ第二十一號乃至二十二號程度ノモノヲ產出スルニ至ラタノデアリマス、然ルニ我ガ現行法ハ、色相ニ依ル種別ヲ數多ニ區分致シマシテ、之ニ對シテ各、異リタル從量稅率ヲ定メテ居リマスル關係上、輸入者ハ實質上第二十一號程度ニ屬スル砂糖ニ對シ關稅ノ輕減ヲ圖ルノ必要上、其色相ヲ降下セシムルノ爲ニ、故ラニ不自然且ツ不經濟ナル著色等ノ方法ヲ施スコト、ナリマシテ、延イテ我ガ糖業ノ進歩發達ヲ阻害シツ、アルノ實情ニアラノデアリマス、隨テ此際輸入糖ノ實際ニ適應スルヤウニ其色相區分ヲ改メマスルト同時ニ、右等ノ弊害ヲ伴ヘル種別ノ砂糖ニ對シマシテ、一律ノ稅率ヲ按配スルコトハ、最モ適切ナル措置ト信ズルノデアリマス、而シテ是ガ稅率ノ程度ニ付キマシテ考慮致シマスルニ、若シ其稅率ガ低キニ失シマスレバ、我ガ糖業ニ對シテ打擊ヲ與フルコトトナルノデアリマスルカラ、内地糖業ニ對スル現在ノ保護ノ程度ヲ變更セザル方針ヲ採用致シマスルト同時ニ、他面消費者ノ立場ヲモ十分ニ考慮致シマシテ、慎重考究ノ上、本改正案ヲ立案致シタ次第デアリマス、隨テ第一ニ色相第十一號未滿ノモノ、稅率ハ、之ヲ據置クコト、致シマシテ、第二ニ色相第十一號以上ノモノ乃至第二十二號未滿ノモノハ、之ヲ合併致シテ、之ニ對シテ生産費其他各種ノ方面ヨリ考察シタル適當ナル關稅率ヲ新ニ按配スルコト、致シマシテ、第三ニ第二十二號以上ノモノニ對シマシテハ、其原料糖ノ改正稅率ニ對應スベキ

相當ノ稅率ヲ配スルコト、致シタノデアリマス、右ノ結果我ガ精製糖業者ハ外國市場ニ於キマシテ、原料糖ノ買付上ニ多大ノ便宜ヲ享受スルコトニナリマシタ、且ツ我ガ粗糖業ハ現在ノ利益ヲ擁護セラル、事トナルノデアリマス、是ト同時ニ右程度ノ課稅ハ糖價ニ對シテ差シタル影響ヲ與ヘザルノミナラズ、他面政府ハ同時ニ砂糖消費稅ヲ輕減スルコト、致シマシタガ故ニ、砂糖ノ關稅及消費稅ノ改正ハ消費者ニ取リ相當ノ利便ヲ與フルモノト思惟スルノデアリマス、第二ニ、次ニ酸化「コバルト」ニ付テ申上ダマスルガ、是ハ工業原料トシテ必要ナルモノデアリマスルガ、内地ニ於テハ生産ノ見込ガアリマセヌノデ、大正五年ニ其輸入稅ヲ無稅ト致シタノデアリマス、然ルニ大正十三年ニ至リマシテ、新ニ含銅硫化鐵礦ノ收銅廢液中ヨリ之ヲ採取スルコトガ案出セラレマシテ、爾來市場ニ其製品ヲ見ルコト、ナッタノデアリマス、而シテ其原料鑛石タル含銅硫化鐵礦ノ埋藏量ハ、本邦ニ於テハ頗ル豊富デアリマスルカラ、之ニ對シテ相當ノ保護ヲ加ヘマスルニ於キマシテハ、自給ノ域ニ達スルコトガ出來ヤウト云フ見込ノ下ニ、昨年ノ一般關稅改正ノ際ニ本品ニ對シテ現行稅率ヲ設ケタ次第デアリマス、當業者ハ此關稅改正ニ力ヲ得マシテ、昨年四月以來、其製造設備ノ改善ニ努力致シマシテ、銳意増産ノ準備ヲ爲シタノデアリマスガ、不幸ニモ同品ノ市價ハ漸次低落致スコトニナリマシタル爲ニ、當業者ハ損失ヲ累ネマシテ、遂ニ其製造ヲ廢止スルノ已ムナキニ陥リマシタ、當分其復活ヲ期待シ得ザルノ狀態ニ立至ラタノデアリマス、隨テ今日ニ於キマシテハ、最早本品ノ關稅ヲ存置スルノ必要ヲ見ザルコト、ナッタノデアリマスカラ、茲ニ其關稅ヲ撤廢致スコト、シタノデアリマス、以上ノ理由ニ依リマシテ茲ニ本改正法律案ヲ提出致シタノデゴザイマス、何卒御審議ノ上、御協賛アラントコトヲ希望致シマス(拍手)

○議長(相谷義三君) 是ヨリ質疑ヲ許シマス、岩切重雄君

〔岩切重雄君登壇〕

○岩切重雄君 只今大藏大臣ヨリ御説明ニナリマシタ砂糖消費稅法、登錄稅法、印紙稅法、關稅改正法、此提案ニ對シマシテ質問ヲ致シタイト思フノデアリマスルガ、私ノ主トシテ御尋ネ致シタイト思ヒマスモノハ、關稅法改正ニ對スル點ニ在ルノデアリマス、此度ノ提案ニハ砂糖並ニ酸化「コバルト」ニ對スル提案ガ致サレテ居ルノデアリマスガ、其内容ニ付キマシテハ何レ委員會ニ於テ仔細ニ御尋ネ致ス機會ガアルト思フノデアリマス、唯、此際ハ昨年以來ノ關稅改正ニ關スル所ノ懸案ニ付キマシテ、大體上ノ觀察カラ數點ニ互テ質問致シタイト思ヒマス、先ヅ第一點ハ關稅ノ收入ニ對スル問題デアリマス、昨年關稅法ヲ改正サレマシタ際ニ、吾々ハ關稅改正ニ依ル所ノ收入ハ政府ガ唱ヘラレマス所ノ大正十五年度ニ於キマシテハ、七百五十二萬一千百十六圓、平年度ニ於キマシテハ千九百三十萬六千三百二十五圓ノ增收ニナルト云フ點ヲ主張サレタノデアリマス、吾々ハ斯ノ如キ所ノ少額ノ增收デハナイ、必ズヨリ以上ノ收入ガアルニ違ヒナイト云フコトヲ力説致シマシタケレドモ、當時政府トシテハ絕對ニ左様ナコトハナイト云フ意味ヲ以テ、詳細ナル數字ヲ吾々ニ示サレタノデアリマス、吾々ノ見ル所ヲ以テ致シマスレバ、關稅ヲ徒ニ改正スル結果ハ、自然消費稅ニ重キ負擔ヲ負ハセルヤウニナリマスカラ、其結果ハ物價ノ騰貴トナルノデアリナイカト云フ茲ニ疑問ガアルノデアリマス、一方ニ產業ヲ獎勵シテ一方ニ關稅ヲ改メラナラバ、ソレハ關稅政策ノ意味ヲ成シマスケレドモ、當時ノ政府、即チ今日ト雖モ政府ハ緊縮方針ノ下ニ、產業ノ助長ニ對シテハ餘リ力ヲ盡シテ居ナイノデアル、國內ノ產業ニ餘リ力ヲ盡サズニ、一面ニ於テ關稅ノミニ改正ヲ行ヘバ、即チ關稅ハ收入主義ニ陥ラテ居ルコトハ、是レ明カナル見解デアルト私ハ思フ、然ルニ政府ハ此點ヲ憚ラレマシテカ、非常ニ内輪ニ見繕タ所ノ數字ヲ吾々ニ示サレタノデアリマス、然ルニ大正十

五年度ニ於ケル關稅收入ノ結果ハ正確ナル數字ハ私存ジマセヌガ、新聞其他ニ依テ傳ヘラル、所ニ依リマス、到底七百五十萬圓ト云フヤウナ僅カナル數字デハナイ、殆ド數倍ニナル所ノ數字ヲ示シテ居ルノデアリマシテ、此點ニ對シテハ先般來、或ハ三土、小川ノ兩氏カラモ質問サレタノデアリマスガ、ソレニ對シテ政府ハ明確ナル御答辯ガ今日マデナイノデアリマス、唯、漠然トシテ何ヲ所ニ依リマス、先年政府ノ出シタ所ノ關稅改正ニ對シテ吾々委員會ガ之ヲ修正シタ、其修正ハ麥ト麥粉ト卵デアリマス、是等ノ點ニ修正ヲ加ヘタコトガ如何ニモ增收入ニナラタ如ク政府ハ説明サレラナクデアリマス、併ナガラ正確ナル數字ハマダ分ラナイカ知レナイガ、麥ト麥粉ト卵ノ改正ニ依テトドレタケレ茲ニ增收ガアツタカト云フコトヲ、先ヅ第一點ニ伺ヒ見タイト思フノデアリマス、次ニ第二點ハ、昨年吾々ノ希望條件ト致シマシテ、提出致シマシタモノハ非常ニ多クアツタ、第一八十數項目ニ互リマス所ノ關稅品目ニ對シテ政府ノ考慮ヲ促シタノデアル、然ルニ僅ニ其中カラ酸化「コバルト」ノ問題、而モ是ハ其當時ニ於テ既ニ明瞭デアツタ問題ヲ、政府ハ頑強ニ固執シテ之ヲ讓ラナカッタ結果、今日果シテ輸入ガ何モナイト云フコトガ明ニナリマシテ、此點ニ改正ヲ加ヘラレタ、是ハ國家ノ政治デアリマスカラ、間違テ居レバ改メラコトハ是ハ當然デアリ、又極メテ結構ナ事デアル、然ルニ是ダケ吾々ノ希望シタ中カラ僅ニ一ツダケシカ改正サレナイト云フノハ、其他ノ稅目ハ果シテ何等修正ノ必要ガナカッタノデアルカドウカ、此點ハ吾々ハ政府ノ御意向ニ依リマシテ、常設委員會ニ依テ慎重ニ取調ベルト云フコトデアリマシタガ、果シテ常設委員會ハ如何ナル程度ニ熱心ナル調査ヲ遂ゲラレタノデアルカ、何回御開キニナツテ、ドレノ問題ヲ下ノ程度ニ御調査ニナツタカト云フコトヲ、今少シク詳細ニ承リタイト思フノデアリマス、其次ニハ吾々ハ不當廉賣ニ對スル修正ノ希望ヲ申上ゲテ置イタノデア

第一讀會

リマス、然ルニ其後ノ我國ノ產業界ニ於キマシテハ、或ハ鐵ノ輸入ニ對シマシテモ、當然不當廉賣法ナルモノヲ適用シテ、何等カノ調査ヲ進メナケレバナラヌ必要ガアツタト私共ハ考ヘルニモ拘ラズ、政府ハ果シテ是等ノ取扱ヲ如何ナル程度ニヤラレテ居ルカドウカ、折角拵ヘラレタル所ノ法律ヲ、之ヲ棚ニ載セテ置イテハ何モナラナイ、ドノ程度ニ之ヲ取扱ハレタカト云フコトニ付テ、政府ノ所見ヲ伺ヒ見タイト思フノデアリマス、其外尙重大ナル問題ト致シマシテハ、染料及鐵ニ對シマシテ、項目ヲ改メマシテ政府ニ質問ヲ致シテ置イタノデアリマスガ、之ニ對スル御調査ハドノ程度ニ進んで居ルノデアルカ、以上申上ゲマシタ所ノ各項目ニ付テ、政府ノ所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

〔國務大臣片岡直溫君登壇〕

○國務大臣(片岡直溫君) 只今岩切君ノ御質疑ニ對シマシテ御答シマス、第一ハ關稅ノ收入ニ對シマシテノ御質疑デアルノデアリマス、是ハ大體先日申上ゲタノデアリマスガ、今日モ私ヨリ大體ノ事ヲ申上ゲテ、尙ホ數字ニ涉ル事ハ政府委員ヨリ申上ゲルコト、致シマスガ、當時關稅ノ實情ハ關稅改正ヲ企テマシタ事柄ガ、自然見越輸入ト云フモノ、計畫ガ多少行ハレタ、併ナガラ其收入其手續ハ其前年度ニ屬セズシテ、此年度ニ移タト云フ關係ガゴザイマスノト、ソレカラ有稅品ノ輸入ガ殖エマシタノト、ソレガ主ナル原因デアリマス、議會ニ於テ改正ニナリマシタ結果トシテ增收ニ相成リマシタ事柄ハ、先日此處申上ゲマシタ數字ト大體違テ居リマセヌガ、要スルニ數字ノ事柄ノ内容ハ詳細ニ涉ツタ方ガ便利ト存ジマスカラ、政府委員ヨリ御答ヲ致サセマス、ソレカラ現内閣ハ產業助長ニハ餘リ力ヲ入レテ居ナイ、關稅其モノハ自然消費者ノ手許ニ於テ高キモノヲ使用スル結果トナルカラ、餘程慎重ナル注意ヲ要スルモノデアルト云フ御論旨ハ、是ハ全く同感デアリマス、其通りデアリマス、ソレ故ニ此點ニ於テハ十分ニ注意ヲ拂テ、案其物

ヲ作テ居リマスノト、產業助長ニ對シマシテハ現内閣以前、即チ加藤伯内閣成立以來年此產業助長ニ對シテ種々ノ畫策ヲ行テ來タコトハ、今更私ガ改メテ申スマデモナイコトダト思ヒマス、本年度ノ豫算ニ於キマシテモ、是等ニ對シテハ相當ノ計上ヲ致シテ居リマスルノト、同時ニ產業助長ノ方法ハ單ニ豫算ノ上ニ現ハスバカリデハナクシテ、或ハ組織ノ改善ヲ促スト云フガ如キ事柄、或ハ組合ヲ組織セシムルト云フガ如キ事柄、或ハ結局ハ法律案トナツテ現ハレナケレバナラヌト存ジマスルガ、金融制度ノ改善ト云フガ如キ事モ、是ハ主トシテ產業發達ヲ期スル目的ニ外ナラヌノデアリマス、之ヲ甚ダ怠テ居テ、唯、收入主義ニ重キヲ置イテ居ルト云フ御論ニ至リマシテハ、是ハ大ニ異ナル所デアリマスカラ、決シテ左様ノ趣旨デナイノミナラズ、今岩切君ノ御述べニナツタ精神ト同一ノ精神ヲ持テ居ルコトヲ明ニ申上ゲテ置キマス、次ニ關稅改正ニ付テハ、五十一議會ニ種々ノ希望條件等ヲ附シテ置イタニ拘ラズ、單ニ酸化「コバルト」ダケノモノヲ出シテ、他ノモノヲ出サヌコトハドウ云フ譯カ、ドウ云フ成行ニナツテ居ルカト云フ意味ニ付テノ御質疑デアツタト存ジマスガ、是等ニ付キマシテハ、今尙ホ關稅委員會ノ調査ヲ濟マナイモノデアリマス、又濟ンダモノデアリマスガ、濟ンダモノニ對シテハ提案ヲ致シテ居リマス、又今後ニ於テ此委員會ノ進行ニ依テ更ニ提出スルモノモアラウト存ジマス、此酸化「コバルト」ハ當時自分等ガ極メテ反對ヲシタニ拘ラズ、非常ニ主張ヲシテ置キナガラ、吾々ノ言フ通りニナツタデヤナイカト云フ御論デアリマスガ、是ハ今說明ヲ致シマシタ通りノ事由ニ依テ、當時ノ主張ヲ致シタモノニ相違ナイノデアリマス、併シ之ヲ又今後ニ於テ多分出來ルデアラウトト云フ、他日ノ調査ニ事ヲ託シテ、之ヲ茲ニ提案ヲシナイ方ガ宜シイカ、先ヅ今差向キ無クナツタモノナラバ關稅ハ除ケテ置イテ、他日出來ルヤウニナツタラ更ニ法律ヲ改正スルガ如キ協賛ヲ求メルコト

ニ出タ方宜イカ、是ハ慮心担懐ニ出タ方  
ガ御互ノ利益ヲラウト思フ、サウシナイト  
負借ミ負借ミト云フコトニナルト、自然直  
スベキモノモ直ラナイヤウニナリハシマセ  
ヌカ、サウ云フコトハ慮心担懐ニ、出  
来ヌモノハ出来ヌト云フコトニシタ方宜  
イデヤナイカ、ソレカラ第三ニ不當廉賣ニ  
付テ御質疑ガアリマシタガ、是ハ實ハ私ノ  
主管デハナイノデアリマス、然ラバ知ラヌ  
カト申シマスレバ、一通リハ知テ居リマ  
ス、知テ居リマスガ、主管大臣ガ居リマセ  
ウト存ジマスカラ、是ハ私ノ商工大臣當時  
ニ於テ關係ノアルコトデアリマスカラ、  
知テハ居リマスガ、今差急イデ御答ハ要  
シナイト思ヒマスカラ、ソレハ當局カラ申  
上ゲマス

○議長(粕谷義三君) 黒田政府委員

〔政府委員黒田英雄君登壇〕

○政府委員(黒田英雄君) 只今岩切君ノ御  
尋ニナリマシタ第一ノ點、即チ小麥、小麥  
粉並ニ鳥卵、之ニ付テ十五年度ノ收入ガ豫  
想ヨリモ多クナテ居ル、其中小麥、小麥粉  
鳥卵ノ税率ノ修正ノ結果何程増エテ居ルカ  
ト云フ御尋デアッタデアリマス、此點ニ付  
キマシテ御答ヲ致シマスルガ、御承知ノ通  
リ小麥ニ付キマシテハ百斤七十七錢ガ一圓  
五十錢ニナリ、小麥粉ニ付キマシテハ一圓  
八十五錢ガ二圓九十錢、卵ニ付キマシテハ  
四圓五十錢ノ提案ガ六圓ニ修正サレマシタ  
ノデアリマス、本年度ノ四月ヨリ十一月ニ  
至リマス間ニ於キマシテ輸入サレマシタ  
是等ノ數量ハ、三百七十三萬八千五百六十  
一「ピクル」ニ相成テ居リマス、之ヲ若シ政  
府ノ提案通りデ收入ガアリマシタ場合ト、今  
日ノ如ク修正ニ相成リマシタ後ノ收入ト比  
較シテ見マスト、二百八十九萬五千七百三  
十圓ノ差ヲ生ズルノデアリマス、即チ先日  
大藏大臣ガ本年ノ關稅收入ノ中、増加シタ  
モノ、一ツトシテ、是等ノモノ、税率ノ修  
正サレマシタ結果ヲ約三百萬圓ト御話ニナ  
リマシタノハ、即チソレデアリマシタデアリ  
マス、其他大正十五年度ノ今日マデノ關稅ノ收入  
ガ、當時ノ豫算ヨリモ多クマッタコトニ付テ

度々御質疑ガアリマシテ、既ニ大藏大臣ヨ  
リ御答辯ニ相成テ居ルノデアリマスルガ、  
尙ホ此機會ニ於テ多少補足シテ私御答申上  
ゲタウト思ヒマス、十一月頃マデノ收入ハ  
約二千圓位多クナテ居ルノデアリマス、  
然ルニ其中現今申シマシタ約三百萬圓ト云  
フモノハ、是ハ當時豫算ヲ作リマシタ際ニ  
於テハ、豫想致シテ居リマセヌ金額デア  
ルノデアリマス、其他爲替相場ノ恢復ノコト  
ニ付キマシテモ、過日大藏大臣ガ御述ベニ  
ナッタデアリマスガ、爲替相場ハ當時豫算  
ヲ致シマシタ時ノ基礎ニ比較致シマス、  
十一月マデノ平均ヲ見マスト云フト、約一  
割八分ノ騰貴ニ相成テ居ルノデアリマス、  
隨テソレダケ有稅品ノ輸入モ有利ニ相成  
テ居ルノデアリマス、隨テ其結果ヲ見マシ  
テモ、此十一月マデノ實績カラ見マス、  
フト、輸入ノ總額ハ前年ニ比較致シマスレ  
バ相當減額致シテ居リマスルガ、是等ノ減  
額ノ大部分ハ無稅品デアアルノデアリマシ  
テ、有稅品ニ付テ見マス、却テ前年度ニ  
比較シマシテ多額ノ増加ニ相成テ居ル  
デアリマス、是ハ輸入價格デアリマス、輸  
入價格ノ増加ハ是ガ從價稅品デアリマスレ  
バ、自然ニ收入ノ増加スルコトハ申スマデ  
モナイノデアリマス、是ガ若シ從量私品デ  
アリマシタナラバ、爲替相場ノ恢復ノ爲ニ  
却テ同一ノ金額ナラバ數量ガ多ク這入ル譯  
デアリマスカラ、多ク這入リマシタモノ  
對シマシテハ、自然收入ヲ増加致スノデア  
リマス、ソレ故ニ有稅品ノ輸入價格ノ増加  
ト云フモノハ、從量稅ナラバ尙ホ一層ノ收  
入ノ増加ヲ來ス傾向ヲ持ツノデアリマス、  
是等ノ影響ハ相當多クアッタコト、考ヘル  
ノデアリマス、是等ハ當時ニ於テ豫算ノ上  
ニ其當時ノ狀況ヲ基礎ト致シマシテ豫算致  
シマシタモノニ比較致シマスレバ、當時豫  
想セザリシ所ノ事柄ニ屬スルノデアリマ  
ス、其他見越輸入ニ付キマシテモ、見越輸  
入ニ係ル品物モ相當ニ多クアッタヤウニ思  
フノデアリマス、併ナガラハ特種ノ品物  
ニ付キマシテモ、輸入ガ多クアッタデアリマ  
シテ、ソレニ付キマシテ施行ヲ三月ノ二十  
九日ニ致シマシタ結果トシテ、施行後ニ入

テ參リマシタ、隨テ此改正サレマシタ新税率  
ヲ適用セラレタモノモ相當ニアルノデアリ  
マス、是ガ即チ本年度ノ歲入ニ入ッタノデ  
アリマス、其當時豫定致シテ居リマシタ所  
ノ一、是ハ御參考ニ御手許ニ差上ゲテ置イ  
タト思ヒマスルガ、其見込ニテ居リマシタ所  
ノ見越輸入總額モ、幸ニシテソレダケノ見  
越輸入ガナカクデアリマス、隨テ本年度  
ノ歲入ノ上ニソレダケ多ク收入ガ出來ルト  
云フ結果ヲ來シテ居ルノデアリマス、其他  
細カク申シマスレバ或ハ鐵鋼材、或ハ人造  
絹、ソレ等ノ價格ガ非常ニ安クナリマシタ、  
爲替相場ノ恢復ト相俟チマシテ非常ニ輸入  
ヲ増加シタト云フ、此輸入ノ自然ノ増加ノ  
結果殖エタモノモアルノデアリマス、是等  
ヲ綜合致シマス、此増加額ト云フ  
モノハ當時ノ事情ト事情ノ變化ニ基キタ所  
ノ增收デアッタコトニ相成ルノデアリマス、  
尙ホ來年度、昭和二年度ニ付キマシテモ、  
先程岩切君ノ御話ガアリマシタガ、是モ當  
時此税率改正ノ時ニ御示シ致シマシタ  
所ノ、即チ大正十六年度ニテ御示シ致シマ  
シタ所ノ概算額ニ比較致シマスレバ、約千  
萬圓ノ増加ヲ見積リテ居リマス、是ハ其中ノ  
一部ハ先程申シマシタ小麥、小麥粉、鳥卵  
ノ増率ニ係ラタコトデアリマス、此爲ニ當然  
當時概算ニ見積リテ居リマシタ額ガ、三百六  
十萬圓ノ増加スルコトニナルノデアリマ  
ス、其他ニ此砂糖ノ關稅ノ改正ノ結果、當  
時豫想シテ居リマセヌ砂糖ノ關稅ノ改正ノ  
結果二百四十八萬圓、其他ハ即チ此爲替相  
場ノ恢復ト今日ノ現狀ヲ基礎ト致シマシ  
テ、豫想致シマシタ結果ノ増加ガアルノデ  
アリマス、左様ナ結果ニ相成テ居ルノデ  
アリマス、ソレカラ昨年當議場ニ於キマシ  
テ希望決議ニナリマシタ品物ニ付キマシテ  
大藏大臣ガ既ニ御話ニナリマシタガ、是ハ  
關稅調査委員會ノ御希望デアリマシタ以  
來、砂糖關稅並ニ是ニ關シマスル砂糖消費  
稅ト云フモノ、調査ガ、相當時日ヲ要シタ  
ノデアリマス、其他ノモノニ付キマシテモ  
銳意研究ハ致シテ居リマスルガ、先程大臣  
ノ御述ベニナリマス通り、未ダ完了致サナ

イノデアリマス、ソレ故ニ尙ホ各目ニ於キマ  
シテモ其調査ハ急イデ居ルヤウナ次第デア  
リマスカラ、左様御了承ヲ願ヒタイ  
カ...

○議長(粕谷義三君) 許可致シマス

○岩切重雄君 簡單デゴザイマスカラ此齋

○岩切重雄君 只今大藏大臣ノ御答辯ノ中  
ニ私ガ申上ゲマシタ點ニ付テ、決シテ收入  
主義ニ陷ツテ居ナイト云フコトヲ申サレタ  
云フ程デアリマスガ、其點ニ付キマシテ質問  
會ニ於テ承ハル機會モアルト思ヒマスガ、  
關稅問題ハ一ノ保護政策デアアルカラ、若シ  
關稅其モノ、精神ガ一變シテ來マスレバ、收  
入ハ漸次減少シテ行カケレバ、關稅ノ目  
的ト云フモノハ達シナイモノノデアリマス  
私ハ思フノデアリマス、關稅ヲ改正スル  
云フコトハ、産業政策デアッタ收入政策デナ  
イ、産業政策ヲ實行シテ、而モ其收入ガ漸  
次増加シテ行クト云フナラバ、自然産業上  
ニ對スル施設ヲシタト云ハレテモ、其效果  
ハ現レテ居ナイト云フコトニナルノデハナ  
イカト私ハ思フノデアリマス、其點ハ只今  
大藏大臣ガ收入主義デアナイト云ハレタケ  
レドモ、精神ハ收入主義デアナクテモ結果ハ  
收入主義ニ陥ルノデアリカト云フコトヲ  
申上ゲテ、尙ホソレニ對スル數字ノ如キ  
ハ、委員會デ御答辯ガ願ヒタイト思ヒマ  
ス、モウ一ツ酸化「コバルト」唯、一ツダケ  
改正ヲシタト云フ點ヲ、私ガ御非難申上ゲ  
タ所ガ、ソレハ慮心担懐デアアルカラ宜イデ  
ハナイカト仰シヤイマシタガ、然ラバ慮心  
担懐ナモノハ他ニハナカッタカ、一ツダケ  
慮心担懐デ、他ハサウデナクシテヤッタモ  
ノデアリマス、慮心担懐ノ御心持ヲ持タレ  
テ、更ニ其他ノ點ニ對シテモ、此立派ナ精  
神ヲ御實行ナサレ意思ハナイカドウカト云  
フコトヲ御尋ネシテ、委員會デアナク此所デ  
御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○國務大臣(片岡直温君) 岩切君ノ最後ノ

御質疑ニ御答申上ゲマス、岩切君ノ御説明  
ニ從ヒマス、關稅ハ遂ニ無クナルコトガ

國ノ非常十産業ノ發達デアルト云フコトニ歸著スルヤウデアリマスガ、其意味ハ私モ餘リ反駁ハ致シマセヌ、貴方ノ仰セラレル所ノ意味ハ幾ラカ道理アルト思ヒマスケレドモ、一體此關稅ヲ高メルト云フモノニ對シテハ、内ニ成立ノ見込ガアル、所謂自給自足ノ見込アル物ニ對シテ當分保護ヲ加ヘナケレバ、自給自足マデ行カナイ、此保護ヲ加ヘルコトニ依テ消費者ガ多少ノ迷惑ハ蒙ルガ、其代リニ他日自給自足ノ域ニ達スルト云フ譯ノモノデアリマス、ソコマデ行キマスル間ニ於テ、貴方ノ御論ノヤウナ部分モ生ジマセウガ、是ハ實際家トシテ少シ御考ヘ下サツタナラバ、自ラ明瞭スルコトノ答ダト思ヒマス、ソレカラ酸化「コバルト」ニ對シテ唯、一ツ出シタノハ、虛心坦懷デナイト仰セラレ、此酸化「コバルト」ハ、モウ内ニ製造ヲスルカガ無クナツテ、製造ヲ見ナイ、是ハ明ニナツタ、其他ノ物デ委員會ニ於テマダ調査、或ハ濟ンダ物デ、曩ニ御希望ノ條件中ニ屬シタ物ガアルノデアリマス、是ハ未ダ日月ガ早クシテ、實行ヲシテ數月ニシカナラヌノデアツテ、今之ヲ御希望ノ通りスルノガ善イヤラ惡イヤラ、是ハ分ラヌノデ、委員諸君ニ於テモ今暫ク時期ヲ見ルノガ相當デハナイカト云フコトデ、此所ニ提案スルコトニ至ラナク、タヤウデアリマス、酸化「コバルト」ダケハ明ニ其製造場ガ製造シナイ、他ニ製造スル所ガナイ、ハッキリシテ居ル、ソレ故ニソレ程明ニナツテ居ル物ハ直グニ出シテ、他ノ物ハ相當ノ調査ガ終リマシタナラバ、ソレハ矢張虛心坦懷ニ取扱フ積リデアリマス

○議長(粕谷義三君) 次ハ前田房之助君

○前田房之助君登壇

○前田房之助君 只今上程ノ議案ニ付キマシテ極メテ簡單ニ質問ヲ致シタイト思ヒマス、只今ノ御説明ニ依リマスレバ、第二次稅制整理ハ國民負擔ノ均衡ヲ圖リ、且ソ成ベク社會政策ノ效果ヲ舉グルト云フ御説明デアツトデアリマス、果シテ其内容ガ御説明ノ趣旨ニ合致スルヤ否ヤハ、委員會ニ於

テ詳細論議ヲ盡スコト、思ヒマスカラ、其點ハ相避ケマシテ、二三要點ニ付テ質問ヲ致シタイト思フデアリマス、御説明ニ依リマスレバ、本年度ヨリ第二次稅制整理ノ結果ト致シテ四百五十萬圓、明年度ヨリハ五百三十餘萬圓ノ減收ヲ來スト云フ御説明デアツトデアリマス、ソコデ御尋ネ申上ダマスルガ、此減收ノ計算ニ付キマシテハ、片岡大藏大臣ハ明確ナル、確平タル御信念ヲ有セラレルヤ否ヤト云フ點デアリマス、第一次稅制整理ノ結果ヨリ見マシテ、私共ハ甚ダ不安ニ堪ヘナイデアリマス、又内容ヲ點檢致シマシテモ、幾多疑ハシイ點ガアルノデアリマス、一例ヲ舉ゲマスルナラバ、此登錄稅デアリマスルガ、此登錄稅ハ明治二十九年度實施サレマシタ當時ハ、僅ニ五百八十七萬圓餘デアツトデアリマス、ソレガ明治四十年ニハ一千四百七十八萬圓ニ増加ヲ致シテ居ルノデアリマス、更ニ大正元年ニハ二千九百四十九萬圓餘ニ増加ヲ致シテ居ル、更ニ十四年度ニ於キマシテハ、一躍致シテ五千六百八十三萬圓餘ニ増加ヲ致シテ居リマス、斯ノ如ク年々非常ナル勢ヲ以テ増加ヲ致シテ居ルノデアリマス、而モ其件數ヲ見マスルト云フト、明治二十九年ニ六百二十五萬九千五百九十一件ノモノガ、大正十四年度ニ至テ五百五十四萬一千九百六十六件、件數ハ寧ろ減少致シテ居ルノデアリマス、此結果ヨリ推論致シマスナラバ、即チ登錄稅ニ關スル資本並ニ不動產其他ノ單價ガ非常ニ大キクナツタ結果デアラウト思フデアリマス、而シテ是等ニ關スル單價ガ年々増大スルト云フコトハ、今後モ持續スル所ノ形勢デアルト云フコトハ、趨勢デアルト云フコトハ間違ナキ事實デアラウト思ヒマス、然ラバ假令僅ニ稅率ヲ御下ゲニナツテモ、低下サレマシテモ、其結果ニ於キマシテハ私ハ決シテ減收スルモノデナカラウト思フデアリマス、或ハ寧ろ本年度ノ登錄稅ハ十四年度ノ登錄稅ヨリモ増加スルヤウナコトニ相成リハセヌカト思フデアリマス、ソコデ果シテ只今御説明ノ如ク、第二次稅制整理ノ

結果今年度ニ於テ四百五十萬圓減少スルヤ否ヤ、是ハ私ハドウモ甚ダ疑念ヲ持ツテ居ルノデアリマス、片岡大藏大臣ハ本會議並ニ豫算委員會ニ於キマシテモ屢聲明ナサツテ、斯様ナコトハ是ハ自然増收デアアル、稅額八年々増加ヲ致シテ居ル、第一次稅制整理ノ如キモ、整理外ノ稅額モ約七分五厘増加ヲ致シタノデアアル、デアルカラ稅制整理ノ結果四千五百萬圓餘額致シタト云フコトハ、是ハ自然増收ダト云フコトヲ強辯ナサレテ居リマスケレドモ、併ナガラ斯ウ云フ統計ヲ以テ當然減少シナイト云フコトガ略明瞭ニナツテ居ルニ拘ラズ、豫算ノ上ニ於テ減少ト云フヤウニ計上サレテ居ルト云フコトハ、貴方トシテハソレハ自然増收ノ言葉ヲ以テ満足ナサルカモ知レマセヌガ、國民ハ至極迷惑ト思フデアリマス、デアリマスルガ故ニ、先ヅ此點ニ付テ果シテ確平タル信念ヲ有セラル、ヤ否ヤ、又貴方ガ引續イテ來會議ニ於テ大藏大臣ノ時ニ增收ヲシテ居ルカラ、ソレハ自然增收ダト仰シヤラレテハ吾々ハ甚ダ迷惑ヲ受ルノデアアル、ソコデ第一次——是ハ印紙稅モ同ジコトナシデアリマス、登錄稅ダケノ方デ讀ミマシタガ、同ジ趨勢ヲ馴致致シテ居ルノデアリマスルガ故ニ、此點ニ付テ先ヅ以テ明確ナル所ノ御信念ヲ伺フ置キタイト思フデアリマス、第二ハ砂糖ノ消費稅並ニ砂糖ニ關スル關稅ノ問題デアリマスルガ、砂糖消費稅ノ改正ノ御趣旨ハ今申上ゲタ如ク、庶民階級ノ需要品デアアル所ノ第一種糖ノ消費稅ヲ半減ヲ致シテ、以テ社會的效果ヲ圖ラウト云フノガ一ツノ目的ノヤウデアリマス、第二ハ第二種糖以上ノ砂糖ニ對シテ、其消費稅ヲ按配ラシテ、以テ産業上ノ支障ヲ除イテ、サウシテ國民負擔ノ輕減ヲ圖ルト云フコトノ目的デアアルヤウデアリマス、併ナガラ吾々ガ砂糖ノ實際需要ノ趨勢ヲ見マスノニ、年々此第一種糖ノ一部デアアル所ノ黑砂糖ノ需要ハ減少ヲ致シテ居ルノデアリマス、即チ此稅額カラ見マシテモ第一種糖ノ黑砂糖デアリマスルガ、大正五年度ニ八百九十二萬四千四百七十七圓ノ消費稅

デアリマス、ソレガ年々減少致シマシテ、大正十四年度ニ八百四十六萬六千九百二十七圓、斯様ニ減少ヲ致シテ居リマス、又此第一種糖ヲ合計致シマスルト、大正五年ニ五百六十三萬八千三百九十一圓、是ガ大正十四年度ニハ減少致シテ四百五十八萬四千八百八十六圓、斯様ニ第一種糖八年々下ツテ來テ居ルノデアリマス、此實情ハ明ニ此庶民階級ト雖モ第一種糖並ニ黑砂糖ノ需要ガ減少ヲ致シテ、サウシテ優良糖ニ向ツテ居ルト云フ所ノ結果ヲ證明致シテ居ルモノト思フデアリマス、是ニ於テカ、假令僅ニ第一種糖ニ對シテ減稅ヲナサレマシテモ、私ハ大藏大臣ガ豫期サレテ居ル如クニ、社會政策ノ效果ガ舉ルモノトハ考ヘナイノデアリマス、私ハ斯様ナコトヲオヤリニナルヨリモ、寧ろ其生産地デアアル沖繩縣並ニ大島ニ於ケル所ノ糖業ニ對シテ、政府ガ特別保護ヲナサル方ガ優ツテ居ルノデハナカラウカト思フデアリマス、詰リ第一種糖ノ消費稅ノ半額ガ大藏大臣ガ豫期サレ、如ク、社會政策ノ效果ガアルヤ否ヤ、又ソレヨリモ——斯ウ云フ事柄ヨリモ沖繩、大島ノ製糖業ニ對シテ適當ナル保護獎勵ヲオヤリニナルト云フ考ガナキヤ否ヤ、此點ヲ先ヅ以テ御同致スノデアリマス、更ニ第二種糖以上ノ消費稅ノ改正デアリマスガ、此第二十二號ト第二十五號ノ砂糖ノ稅金ガ今迄ハ餘リ開キガナク、デアリマス、ソレガ改正ノ結果非常ニ開キヲ生ジタ、ソコデ此第二十二號ノ砂糖ト第二十五號ノ砂糖ガ非常ニ競争ガ激甚ニナル虞ガアルノデアリマス、即チ其結果トシテ糖業界ガ動モスレバ混亂スルト云フ所ノ形勢ヲ馴致スル虞ガアラウト思ヒマス、更ニ此砂糖ニ關スル關稅ノ改正デアリマスルガ、是ガ只今モ御説明ノ如ク第二種、第三種、第四種、詰リ號デ申シマスルト二十二號以下ノ關稅ニ對シテハ、從來三種ニ變テ居、タノデアリマスガ、今回ハ同一率ト爲サレテ三圓九十五錢ノ關稅率ヲ課シテ居ラレマス、其結果トシテ關稅率ガ同一ニナツタガ爲ニ、第二種糖ニ對シテ第三種、第四種糖ガ壓迫ヲ加ヘル



以テ調査ガナッタノデアリマスカラ、其調査未了ノモノハ、次ノ議會ニ提案スル、此出來夕部分ニ協賛シテ貰ヒタイ、是ガ五十一議會デアッタ、是ハ五十一議會ノ豫約デア、サウシテ方針ハ五十一議會ト同ジコトデア、大體ノ方針ニ於テハヒドク傷ケヌヤウニスル、是ガ目的デアリマス、併ナガラ今日ノ社會ノ實情ニ顧ミマシテ、社會政策ノ相當ノ效果ヲ舉ゲルヤウニセンナラスト云フコトノ必要ノ迫リテ居ルコトハ、是ハ論ノ無イコトデアリマス、ソレ故ニ爲シ得ル限リニ於テ其方ニ力ヲ盡シテ調査ヲ致シタノデアリマス、現ニ此案其モノガ吾吾國民全體ニ於テ、多少當局者ニ對シテ異議ヲ挾ム者ガ絶無トハ私ハ言ハヌガ、大體ニ於テ頗ル歡迎致シテ居ルコトハ論ヨリ證據ダト私ハ思ヒマス(拍手)成程教育費國庫負擔金ヲ増加スルト云フコトハ、是モ昨年ヨリシテ八千万圓ニ致サウト云フコトニ對シテハ、政友本黨諸君ト同意見デアリマス、今モ尙ホ其通りデアリマス、其通りデアリマスルカラ財政ガ許スナラバト云フ考ヲ以テマシテ、即チ苦心ノ結果五百萬圓ノ増加ヲ提案ヲ致シタ次第デアリマス、又他日ニ於テ繰合セノ付ク時ガ到來致シマスレバ、此目的ヲ達スルヤウニ致サウト云フコトニ付テハ、何等變テ考ヲ持テ居ル者デアリマセヌ、併ナガラ稅制整理ノ一部ヤツテ、而シテ登錄稅ヤ、砂糖消費稅ヤ其他ノ稅ニ對シテハ、何等ノ改正ヲ加ヘナイト云フガ如キ、片手落ノコトヲ爲スコトハ頗ル宜シクナイト思フ、況ヤ印紙稅、登錄稅ノ如キモノハ、國民全體トモ云ヘマセヌガ、實際仕事ヲ致シテ居ル者ハ、非常ニ是ハ困リテ居ル事柄デアリマス、現ニ不動產ノ如キモノヲ所有シテ、之ヲ擔保ニ供シテ金ヲ借ルトキモ、或ハ之ヲ他ニ讓ルトキ等ニ於テ非常ニ稅ノ高キモノヲ負擔スルコトハ、實際其所有者ハ非常ニ苦痛デアリマス、其他僅カノ事ニ稅ヲ課セラレ、非常ノ手數ヲ加ヘテ居ルガ如キ事實、或ハ累進稅ノ勘定ノ仕方ニ依リテ、當局者ト意見ヲ異ニシテ屢紛擾ヲ來スト云フガ如キコトハ、是ハ當然避

ケテ宜シイコトデアラウト存ジマス、故ニ之ヲ甚ダ不徹底ト仰セラレルガ、凡ソ徹底不徹底ト云フガ如キコトハ、是ハ人ノ見様ニ依リテ違フコトデアリマセウガ、豫メ此稅制整理ナド、云フモノハ懸案トナツテ來カッタト云フコトハ、此徹底不徹底ノ議論ノ爲ニ出來ナイコトデアリマセウ、即チ第一次稅制整理ヲヤッタコト、第二次稅制整理ヲヤラウト云フコト、ハ目的ニ於テ、方法ニ於テ大體異ンタ所ハナイノデアリマシテ、第一次稅制整理ニ御協賛下サツタ以上ハ、第二次ニ於テ之ヲ不徹底ヲ名トシテ御拒ミニナル道理ハ私ハ無イト思ヒマス(拍手)私ハ教育費國庫負擔額ヲ増加スルコトニ於テ異議ハゴザイマセヌガ、之ヲ犧牲ニ供シテソコヘ持ッテ行カウト云フコトニ對シテハ、是ハ斷ジテ御同意ハ出來マセヌ

(政府委員黒田英雄君登壇)

○政府委員(黒田英雄君) 砂糖ニ關シマスル御質問ニ對シマシテ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、併シ此事ハ大分御質問モ詳細ニ涉リテ居リマスルシ、詳シク申上ゲマスレバ非常ニ時間ヲ要スルコトニ相成ルト考ヘルノデアリマス、ソレ故ニ此處デハ極メテ簡單ニ大要ヲ申上ゲテ置キマシテ、委員會ニ於テ詳細御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、第一ニ一種糖ノ消費ガ漸次減少シテ居ル、殊ニ一種ノ甲ニ付テハ例ヲ御舉ゲニナリマシタガ、減少シテ居ルト云フ御話デアリマス、是ハ時ノ作柄ノ豊凶ニモ依リマシテ違ヒマスルガ、大體カラ申シマスレバ、先程大藏大臣ノ申述ニマシタ通り、自然消費ガ上級品ニ移リツ、アルト云フ傾向ハ認メラル、ノデアリマス、併ナガラ此一種糖ハ獨アリマス所ノ沖繩、大島ヲ救済スルコト云フ目的デハナイノデアリマシテ、其消費ガ東北或ハ北海道、或ハ九州地方ニ主トシテ消費サレテ居ルノデアリマシテ、其消費ノ狀況カラ見マシテ、庶民階級ニ屬スルモノト考ヘラレルノデアリマスカラ、其負擔ヲ輕減スルト云フ趣旨デ減稅致シテ居ルノデア

リマス、ソレカラ三種以上ノ砂糖ニ付キマシテ、或ハ二十二號ト二十五號トガ稅率ノ開キガ少イト云フ意味ノ御質問デアツタカト思ヒマスルガ、是ハ二十二號未滿ト二十五號ノ御話デアツタラウト思ヒマス、二十二號未滿、現行法ニ依リマス四種、是ト現行法ノ五種トノ間ニ於キマシテハ、消費稅ニ於キマシテ相等ノ間隔ヲ設ケタ積リデアリマス、即チ一圓ノ開キヲ置イテ居ルノスルト云フト、五種ノ砂糖ノ消費ガ自然ニ四種ノ方ニ移シテ來ル、ソレガ爲ニ五種即チ先程御述ベニナリマシタヤウニ精製糖業、粗糖業ノ双方ノ立場ヲ能ク考慮シテ稅率ヲ盛ラナケレバナラヌノデアリマス、ガ、若シ左様ナコトガアリマスト云フト、精製糖業ノ方ガ非常ニソレガ爲ニ脅威ヲ蒙ルト云フコトモ起リ得ル、ソレ故ニ是等ノ砂糖ノ糖度、或ハ市價等カラ考ヘマシテ、此程度ガ適當デアルト考ヘマシテ稅率ヲ盛リマシタ次第デアリマス、ソレカラ二種、三種、四種ト云フモノガ關稅ニ於テ一絡ニナリ、二種ノ砂糖ヲ壓迫ヲシハシナイイカト云フ風ナ御疑問ノヤウデアリマシタ、是ハ先程モ大藏大臣ガ述ベマシタ通り、現行法ノ制定サレマシタ當時ニ於キマシテハ、自然ニ造ラレマス所ノ砂糖ハ多ク十五號未滿ヨリ二種ノ砂糖デアツタノデアリマス、然ルニ漸次此精製糖業ガ發達シテ參リマシテ、今日自然ニ出來マスモノハ、我國ニ於キマシテモ三種若クハ四種ニ相成リテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ今日二種糖ガ斯ノ如ク澤山ニ輸入サレ、或ハ消費サレテ居リマスルノハ、稅率ガ輕クナツテ居リマス爲ニ、折角出來タ所ノ上級品ヲ殊更ニ色著ケテ致シマシテ、二種ノ砂糖ニスルト云フ風ナコトデアリマスカラ、今回關稅ニ於キマシテ之ヲ一ツニ致シマシテ、三圓九十五錢ト云フ稅率ヲ設ケマシタノハ、是等ノ不自然ヲ避ケマシテ、自然原料トシテ輸入サレルモノハ、主トシテ今日輸入シテ居リマスル瓜哇ニ於テ生産サレマスモノデ、所謂中即チ二十一號二十二號程度ノモノガ輸入サレル

ヤウニナツテ來ルノデアリマス、二種ノ砂糖ノ輸入ト云フモノハ原料糖ト致シマシテハ殆ド無イコトニナラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ臺灣ニ於キマシテモ矢張中双ノ精製ガ出來ルコトニナリマシテ、二種ノ砂糖ヲ壓迫スルニ非ズシテ、自然ニ是等ノ砂糖ガ原料糖トシテ用ヒラレルコトニナリ、自然ノ狀勢ニ合フヤウニナルノデアリマス、消費稅ニ於キマシテ二種三種ヲ合セマシテ四種ヲ區別致シテ居リマスルノハ、是ハ直接消費トシテ用ヒラレマスル所ノモノニ、未ダ三種ノ砂糖ノ自然ニ出來テ居ルモノモアリマスルカラ、是等ノモノ、壓迫ヲ避ケル爲ニ、二種三種ヲ合セマシテ今日ノ二種ノ低稅五圓ト云フモノヲ一三種ハ即チ七圓デアリマスルガ、此五圓課スルト云フコトニ致シマシテ、消費者ノ負擔ノ輕減ヲ圖リ、品質ノ良キ砂糖ヲ消費シ得ルト云フコトニ致シタノデアリマス、四種ヲ區別致シマシタノハ、先程申シマシタヤウニ、一方ニハ五種ノ精製糖ノ關係モアリマスルシ、又一方ニハ消費稅ニ於キマシテ、二種、三種、四種ヲ一率ニ致シマスルト云フト、其稅率ヲ低クスレバ、精製糖ノ非常ニ脅威ニナリマスルシ、高ク致シマスレバ消費者ノ負擔ヲ過重スルト云フコトニナリマスルノデ、一種糖ト五種糖トノ間ニ適當ナル差ヲ設ケマシテ、消費ノ現狀、取引ノ現狀ヲ破壞シナイヤウニ注意ヲ致シマシテ盛リマシタ次第デアリマス、ソレ等ノ結果ニ付キマシテノ詳細ハ、何レ委員會ニ於キマシテ申上ゲタイト考ヘマスルガ、大要ヲ申上ゲマスレバ左様ナ次第デアリマスカラ、此席ヨリ御許ヲ願ヒマス

○議長(稻谷義三君) 許シマス

○前田房之助君 只今片岡大藏大臣ハ、自然增收ノ事ニ付キマシテ續々御述ベナツタノデアリマスルガ、私ノ間ハントスル所ノ眞意ヲ十分御諒解ニナツテ居ラナイヤウニ思ヘルノデアリマス、就キマシテハ、此問題ハ他日ノ機會ニ讓ルト致シマシテ、唯、

此第二次税制整理ハ、吾々ガ不必要デア  
カラ何トカ考慮セヨト云フヤウナ質問ヲ致  
シタカノ如クニ御答辯ニナツタノデアリマ  
スルガ、私共ハ決シテサウ云フ意味デ質問  
申上ダクノデアリナドデアリマス、第二次税  
制整理ノ目的ハ、固ヨリ吾々モ必要トハ信  
ジテ居リマスルケレドモ、財政ノ都合上如  
何ニモ不徹底ナル點ガアルノデアリマスカ  
ラ、能ク御研究ヲ爲サテ、サウシテ財政ノ  
都合ガ付イタ時ニ徹底ナル整理ヲ斷行サ  
レテハ如何デアルカ、税制ナルモノハ假令  
少々不都合ナモノデモ、慣習ニ慣レマス  
云ト所謂良税ニ化スルト云フコトガ是ガ  
税制ノ原則デアリマス、サウ度々變更ヲス  
ベキ性質ノモノデアリガ故ニ、斯カル不徹  
底ナル税制整理ヲ今御出シニナルヨリモ、  
暫クシテ財政ノ都合ガ許ス時ニ至テ、今少  
シク徹底ナル案ヲ御出シニナル方宜シ  
クハナイカト云フ、所謂希望ノ質問ヲ申上  
ダクノデアリマスルガ、併シ此問題ニ付キ  
マシテモ、他日ノ機會ニ十分論議ヲ致シタ  
イト思ヒマスカラ、私ハ此程度デ質問ヲ打  
切リマス

○議長(粕谷義三君) 此際古川清君ノ入場  
ヲ許シマス——次ノ質疑通告者吉良元夫君  
〔吉良元夫君登壇〕

○吉良元夫君 先刻ヨリ先輩岩切君及前田  
君ヨリ重要ナル御質問ガアツタノデアリマ  
シテ、私ノ間ハント欲スル大體ハ殆ド盡シ  
テ居ルノデアリマスルガ、其點ヲ除外致シ  
マシテ、成ベク簡單ニ御尋ネ致シタイノデ  
アリマス、只今議題ニナツテ居リマスル所  
ノ所謂第二次税制整理ニ於テノ此登録税法  
中改正法律案、印紙税法中改正法律案、砂  
糖消費税法中改正法律案、關稅定率法中改  
正法律案、是レ所謂第二次整理ト現内閣ガ  
仰セラレマスル所ノ、即チ此一月十八日ニ  
於テ首相ガ施政方針ノ演説ノ中ニモ述べラ  
レテ居ル所ノ、此最モ當議會ニ於ケル重要  
法案、所謂重要改正案デアルト私ハ思ウテ  
居ル者デアリマス、然ルニ人各見ル所ガ  
違ヒマスルノデアリマスルガ、現内閣諸公ハ  
昨五十一議會ニ於テ、所謂第一次税制整理

ヲ御斷行ニナツタノデアアル、而シテ此第一次  
ノ税制整理ト云フモノハ、多年國民ガ要望  
致シテ居タ、所謂國民ノ要望ニ副ウタル極  
メテ適切緊要ニシテ、國民ノ實際生活ニ至  
大ノ效果ヲ舉ゲタル所ノ税制整理デアルト  
誇ラレテ居ラレタルデアリマス、然ルニ不幸  
ニシテ吾々ハ此税制整理ヲ左様ニ見ナイノデ  
アル、是ハ人各意見ガ異ナル、即チ人心ノ  
同ジカラザルコト尙ホ其面ノ如シデアリマ  
シテ、見方ガ違ヘバ大ニ其感想モ違フ、又  
實際問題ニ觸レテノ結果ニ付テ見マスルト  
云フト、私ハ此税制整理ノ總テヲ以テ失敗  
ナリト即斷スルモノデアリマセヌケレドモ  
ガ、大體ニ於テ昨年非常ニ此問題ニ付テ討  
論考究セラレタノデアリマセヌケレドモガ、  
其時ニ論難攻撃セラレテ居ル中ニ、我ガ政  
友會ノ先輩ニ於テ提唱セラレタ議論ガ洵ニ  
適切デアツテ、而モ今日ニ於テ其議論ト云  
フモノガ昭々ト有力デアツタト云フコトハ、  
事實明瞭ナルコトニナツテ居ルノデアアル(拍  
手) 此第一次ノ效果カラ考ヘマシテモ、勿  
論國民負擔ノ均衡ヲ得セシメ、若クハ實際  
生活ニ即シテ必要ナル減稅ヲ爲スト云フコ  
トニ於テ、誰モ異議アルベキ筈ハナイ、醬  
油稅トカ、賣藥稅トカ、通行稅トカ、織物  
稅ヲ廢止シタト云フ點ニ於テ誰モ異議ヲ申  
述ベヌガ、之ニ代テ酒造稅、麥酒稅、清涼  
飲料稅等ノ增徴ヲ致シマシタ結果、實際ニ  
於ケル農民労働者社會ノ下方ニ住シテ居  
リマシテ、非常ナル労働ヲ以テ、國家ノ事  
業ニ貢獻致シテ居リマス人方ノ今日ノ感想  
ハ如何デアリマスカ、勿論酒造ノハ人生生  
活必需品ニアラズト云フ議論ガ、今日ニ於  
キマシテ多ク唱道サレテ居ルノデアリマス  
ルケレドモガ、ソレハ正シキ見方カハ存ジ  
マセヌ、併ナガラ日本帝國ニ於ケル清酒ナ  
ルモノハ、或ル意味ニ於テハ生活必需品ナ  
リトモ言ヒ得ルノデアリマス(ヒヤ) 二  
之ニ向テ極メテ不景氣ノ時代ニモ拘ラズ、  
二割以上ノ増稅ヲナサレタノデアアル、サウ  
シテ此四五ノ廢稅ヲナサレタノデアアル、其  
結果如何ニナツテ居ルカト云フコトヲ、實  
際社會生活ニ付テ考ヘテ見マシテモ、能ク

分テ居ルノデアリマス、醬油稅ヲ廢稅サレ  
タ後ニ國民ガドレダケ醬油ヲ安ク、而モ結  
構ニ愉快ニ食ベテ居ルノデアリマスカ、此  
醬油稅廢止ノ結果ハ醬油營業者ノ陰暗ナル  
利益トナツテ大部分ハ居ルノデアリマス、サ  
ウ云フヤウナ次第デアリマシテ、實際社會  
生活ノ上ニ於テ現レタル所ノ有様カラ、之ヲ  
研究ヲ致シテ見マスルト云フト、洵ニ寧ろ  
斯ノ如キ税制整理ト云フモノハ致サナイ方  
ガ、却テ國民ノ實際生活ニ喜ブ現狀デア  
タト私ハ信ズルノデアアル(拍手) 斯様ノ實際  
ガアルニモ拘ラズ、此度ハ又第二次ノ税制  
整理ノ意味ヲ以テ、斯ノ如ク廣汎ニ互ル所  
ノ登録稅及印紙稅等ノ改正案ヲ御編製ニナ  
リマシテ、茲ニ御提案ニナツタノデアリマ  
スルガ、此一ツ々々ノ詳細ノ項目ニ互リマ  
シテハ、私ハ法律ニ暗イ者デアリマスカ  
ラ、立法ト云フ事ニ付テ十分ノ研究ヲヤ  
テ居リマセヌケレドモガ、是ハ先刻先輩前  
田君ガ御話ニナリマシタ通りニ、斯ノ如キ  
非常ニ國民ノ實際事業ニ關係ノアリマスル  
所ノ印紙稅法、或ハ登録稅法ノ如キモノヲ、  
今急速ニ改正ヲ行ヒマセヌケレバ、ドレダ  
ケ今實際社會ニ弊害ガ存在シテ居ルノデア  
リマセウカ、勿論負擔減輕ノ意味カラ申シ  
マスレバ、一日モ速ニ成ベク負擔減輕ノ實  
ヲ舉ゲルト云フコトガ、國民ノ要望シテ居  
ルコトニ相違ナイ、先刻カラ大藏大臣ノ御  
演説ニ依テ見マスルト云フト、今年度ニ  
於テハ四百萬圓ノ減稅ト相成ル、明年度ヨ  
リハ少クトモ五百三十萬圓餘ノ減稅ト相成  
ルト云フ御演説デアリマスルケレドモガ、  
是ハ恰モ昨年ノ税制整理ニ於テ非常ナル減稅  
ニナルト仰セラレタノデアリマシタケレド  
モガ、實際ニ於キマシテハ減稅トコロデハ  
ナイ、非常ナル大増稅ノ結果ニ陥テ居ル  
事實ガアリマス、丁度ソレヲ再ビ重ネルコ  
トニナラウト私ハ思フノデアリマス、併ナガ  
ラ私ハ左様ニ思ウテモ、大藏大臣ハサウデ  
ナイト仰シヤルノデアリマスルカ、是ハ水  
掛論デアリマスカラ餘リ申上ダマセヌケレ  
ドモガ、既ニ今日ニ於キマシテハ、印紙稅  
法ニ於テモ、登録稅法ニ於テモ、其實際法

案ノ慣用ニ極メテ國民ガ今慣レテ居リマス  
ルノデアリマスガ、之ヲ茲ニ御提案ニナ  
タヤウニ直ニヤリマシテハ、私ノ信ズル所  
ニ依テハ決シテ減稅ニハナラヌノミナラ  
ズ、此法律ノ改正ノ結果、國民ガ多大ニ此  
改正ノ實行ト云フコトニ付テ苦シム結果ト  
ナルト私ハ信ズルノデアアル、凡ソ時勢ノ進  
歩ニ應ジテ法律ノ改廢ヲ致スト云フコト  
ガ、時代ノ推移ニ鑑ミテ適切ナコト、私ハ  
信ズルノデアアル、併ナガラ斯ノ如キ重大  
ナル法案ヲ、格別國民ガ苦ミモシナイノニ  
(ノウ) 咄嗟ノ間ニ提案シテ、サウシ  
テ之ヲ御議了ニ相成リマシテハ、丁度如何  
デアリマスカ、普選法ハ國民ノ要望デア  
ルト云ウテ喧マシク此目前ノ議會ニ於テオヤ  
リニナリマシタガ、今日普選ヲ實行スルニ  
當テハ疑義百出、遂ニ此議會ニ於テ、ドウ  
シテモ之ニ種々ナル改正ヲ加ヘナケレバ實  
際ニ行フベカラザル法律案デアルト云ウヤ  
ウナル次第ニナツテ居ルデアリマセヌ  
カ、凡ソ國家國民ニ最モ痛切ナル關係ノア  
リマスル重大ナル法案ト云フモノハ、左様  
ニ輕クニ改廢スベキ筋ノモノデアナイト私  
ハ信ズルノデアアル、是ニ於テ當局ニ御尋ヲ致  
シマスルノハ、此改正ヲ此議會ニ於テ急ニ  
行ハンケレバ、ドレダケ國民ノ生活ノ上ニ  
弊害ガアルト信ジテ居ラル、ノデアアルカ、  
國民ハ左様ニ今日此法案ヲ一日モ速ニ、此  
議會ニ於テ是非改廢シテ、斯ノ如キ改正案  
ヲ出シテ貰ハンケレバナラズト要望致シテ  
ハ居ラヌト私ハ認メテ居ル者デアリマス(拍  
手) 現ニ昨年ノ税制整理ノ問題ニ於キマシ  
テモ、私共地方農村ニ居ル者デアリマシテ、  
自作農免稅ト云フコトニ付テハ、政友本黨  
ナドデモ非常ニ御苦心デアリマシタガ、近  
接町村ヲ併合シテ自作スル者ニ限テ、二百  
圓未満ノ地價ヲ持テ居ル人方ノ稅ヲ減ジ  
タノデアアル、國民中小農ノ人ガ我が帝國ニ  
ハ甚ダ多イノデアルカラシテ、此人ハ非常  
ニ喜ンデ居ルデアラウト云フコトヲ私共自  
ラモ信ジテ居ルノデアアル、然ルニ此法律ヲ  
確定シテ、實行ノ一段ト相成テ見マシタ  
所ガ、實際國民ハ左様ニ此議決ヲ喜ンデ居

ナレ(ノウ)併シ是ハ無理モナイコト  
 デアル、委テ變ヘテ地方稅トシテ、特別稅  
 トシテ殆ド同額ノモノヲ取ラレテ居ルノデ  
 アル、法ハ面デアル、一方ノ類ヲハット打  
 テ、一方ノ類ハ撫テト云フヤウナ結果ニ  
 ナ、テ居ルノデアル、何等國民トシテハ有難  
 味ヲ感ジナイ、唯、地方ニ於テハ非常ニ此  
 酒稅ト云フモノ、上、タコトニハ苦シク居  
 ルノデアル、然ラバ酒ハ飲マナケレバ宜イ  
 デヤナイカ、成程酒ハ飲マヌ方宜イノデ  
 アル、酒ヲ用ヒヌ方宜イノデアリマス  
 ガ、地方農村ニ於ケル所ノ勞働ニ從事シテ  
 居ル者ハ、辛ウジテ其生活狀態ノ一端ヲ酒  
 デ痛苦ヲ慰メテ、明日ノ勞働ニイソシンデ  
 居ルノデアル、ソレニ極端ナル課稅ヲセテ  
 レタノデアル、爲ニ此酒造業ニ直面致シテ  
 居ル所ノ吾々同業者ハ、少クトモ一稅務署  
 管下ニ於テ、大藏大臣ガ御調査ニナクナ  
 ラバ能ク分テ居リマセウガ、少キハ二三名、  
 多キハ五六名ソツ父祖ノ事業ヲ擲チ、經營  
 スルコトガ出來ナイ悲況ニ陥テ居ル人ガ  
 アルノデアル、併シ國民中酒造家ノ一部分  
 ガ苦シクモ、國家ニ非常ナル重大ナル公益  
 ガ上レバ、ソレハ犧牲トシテ甘シクナケレ  
 バナラヌカモ知レマセウガ、決シテ國民ト  
 シテハ之ヲ喜ンデ居ラヌノデアル、洵ニ此  
 度突如トシテ又再ビ實際行ウテ見タナラ  
 バ、果シテ當局ノ仰セラル、ガ如キ好結果  
 ヲ得ルヤ否ヤハ甚ダ疑ハシイ、寧ろ當局ノ  
 言明ヲ裏切ルカ如キ、又增稅ノ結果ニ陥ル  
 モノデアラウト私ハ信ジテ居ルノデアアル  
 ガ、兎ニモ角ニモ斯ノ如キ法ヲ今是非提案  
 ヲシ、之ヲ議決シナケレバナラヌト云フ理  
 由如何ヲ、詳細ニ御説明アラントコトヲ切望  
 スルノデアリマス(拍手)

〔國務大臣片岡直溫君登壇〕

○國務大臣(片岡直溫君) 只今ノ吉良君ノ  
 御質問ニ御答ヲ致シマス、大分長ク御質疑  
 デゴザイマシタガ、ドウモ御論旨ガ一寸私  
 ニハ了解シ兼タ點モアルノデアリマス、一  
 寸聽キ様ニ依ル、醬油稅ヲ廢シタガ國民  
 ハ何トモ思ウテ居ラヌ、喜ンデ居ラヌ、其  
 他ノ御言葉等ヲ拜聽シマシテモ、何ダカ增

稅ハ一向御嫌ヒデナイヤウナ風ニモ聞エ  
 ル、ソコデドウモ御論旨ガ何處ニ在ルカト  
 云フコトガ分リ兼ル點モゴザイマスガ、兎  
 ニ角私ノ受取テ所ニ依テ御答ヲシテ見マ  
 セウ(眞面目ニヤルベシト呼フ者アリ)極  
 メテ眞面目ダ、是レ以上ニ眞面目ノ仕方ハ  
 ナイ(同感)眞面目カト呼フ者アリ)是ハ  
 驚イタコトヲ仰セラレル——此第二次稅制  
 整理案ヲ突如トシテ出シタカ、咄嗟ノ間  
 ニ拵ヘタカ、サウシテ是非此案ヲ此際ニ  
 仕進ゲナケレバナラヌト云フ理由ハ何處ニ  
 在ルカ、斯ウ云フ仰セデアリマス、稅制ノ  
 整理ハ年來ノ懸案デアアルコトハ吉良君モ御  
 承知デアリマセウ、何レノ内閣ニ於テモ稅  
 制整理ノコトハ屢、唱道セラレタモノデア  
 リマス、而シテ此課稅ノ標準ナルモノニ於  
 テハ、ソレト意見ノアルコトデアリマス  
 ガ爲ニ、中々實行ヲ見ルコトガ出來得ナカ  
 タ、即チ加藤内閣成立以來、大震大火等ノ  
 出來事ガアツタ爲ニ減稅ト云フコトハドウ  
 モ出來得ナイ、サリトテ現在ノ收入ノ範圍  
 内デ均衡ノ保テルヤウニシナケレバナラ  
 ヌ、而シテ社會政策的ノ實行ヲシナケレバ  
 ナラヌ、此趣旨ノ下ニ案ヲ立テラレテ、彼  
 ノ木綿ノ織物ノ消費稅ヲ廢スルコトカ、通行  
 稅ヲ廢スルコトカ、如何ナル下級者ト雖モ無  
 クテハ適ハヌ醬油ノ如キモノニ稅ヲ課スル  
 コトハ宜クナイカラ之ヲ廢スル、或ハ賣藥  
 ノ如キモノハ地方ニ於テ醫者ヲ迎ヘルコト  
 モ出來ナイヤウナ場所、及其境遇ニ在ル者  
 ガ用ユル、之ニ稅ヲ課シテ高カラシムルコ  
 トハ宜クナイト云フ所ヨリシテ廢稅ヲヤ  
 タノデアリマス、廢稅ヲヤツタ、ケ其處ニ  
 收入ガ足ラヌコトニナツタカラ、足ラヌ所ヲ  
 理合ス爲ニ酒ニ稅ヲ上ゲ、麥酒ニ稅ヲ上ゲ  
 清凉飲料水ニ對シテ稅ヲ課ケ、ソレカラ又  
 資本家ニ對シテモ、資本利子稅ト云フモノ  
 ヲ拂ハセル、斯ウシテ之ヲ理合セラヌ、  
 斯ウ云フコトニ致シタコトハ今改メテ申ス  
 マデモナイ、其趣旨ノ中ニ今提出シタ所  
 ノ稅種モアルノデアリマスガ、是ハ十分ノ  
 調査ヲ遂ゲナクテハナラヌノデアリマス、其調  
 査ノ不十分ナルモノヲ提案スル譯ニ行カナ

イカラ後廻シニシタ、殊ニ砂糖ノ如キハ一  
 方ニ消費者ノコトヲ考ヘナクテヤナラヌ、  
 一方ニ於テ製造業者ヲ保護スル關係上ニ於  
 テ、關稅ノコトヲ考慮シナケレバナラヌ、  
 相互考慮ヲ要スル事柄デアツテ、昨年ノ議  
 會ニ間ニ合ハナクツタカラ、其後ニ於テ調査ヲ  
 繼續シテ、茲ニ成案ヲ見タト云フ譯デア  
 ル、決シテ突如デモナケレバ、咄嗟デモナイ(拍  
 手)十二年以來掛テ此ニ至、タモノデア  
 ル、嗟ノト云フコトデアツタナラバ、世ノ中  
 ノ咄嗟ナルモノハドンナモノデアアルカ(拍  
 手)サウシテ此稅ノ改正ニ依テ、現ニ昨年  
 協贊ヲ經テ實行サレタ自作農ナドト云フモ  
 ノハ、何ニモ喜ンデ居ナイ、斯ウ云フ例  
 證ニ舉ゲラレタノデアリマスガ、其舉ゲラ  
 レタ理由トシテハ、成程租稅ハ課カラヌヤウ  
 ニナツタガ、地方ニ於テ其稅ヲ課セルカラ  
 何ニモナラヌト仰セラレル、地方ノ左デ稅  
 ヲ課セルコトハ、地方ノ制度其モノガ惡イ  
 カモ知レマセウガ、若シモ此場合ニ於テ租  
 稅ガ課カリ、地方稅モ課ラドウデス(ヒ  
 ヤヒヤ)拍手)即チ租稅ヲ免ゼラレタゲ  
 ハ、喜バザルヲ得ナイデアリマセウカ  
 (ヒヤ)——サウシテ酒ノ値上ヲセラレタ  
 コトハ非常ニ困テ居ル、此酒ハ必需品トモ  
 言ヘル、斯ウ云フ御語デアリマスガ、是ハ  
 酒ノ嫌ヒナ方ノ人カラ云ヘバ又見解ガ違ヒ  
 マセウ、酒ノ好キナ方カラ云ヘバ必需品ト  
 モ云ヘマセウ(ヒヤ)——(笑聲)併ナガラ酒  
 ガナケレバ死ヌルト云フモノデハナイ、生  
 キテ居レヌト云フモノデハナイ、是ダケハ  
 言ヒ得ル、必需品ト云フ程度ニ近キ考ヲ持  
 ツ人モアリマセウ、ソレハ私ハ否、ハシナイ  
 (若槻總理三問クベシ)文部大臣ニ問クベ  
 シト呼フ者アリ)併ナガラ酒ノ稅ガ上ツテ  
 非常ニ困テ居ル、上ラヌ方宜イニ極  
 テ居リマス、御論旨ニ私ハ反對セウガ、併ナ  
 ガラ酒ノ稅ガ上ツテ非常ニ困テ居ルト云フ  
 コトデアレバ、アノ收入見込ガ平年ノ所ヘ  
 早ク戻テ來ルナドト云フコトノアルベキ  
 筈ノモノデハナイト思フノデアリマス、當  
 局者ハドウシテモ稅ヲ上ゲタラバ、茲ニ酒

ヲ造ルコトモ減ルダラウ、酒ヲ消費スルコ  
 トモ減ルデアラウト考ヘタガ、ソレガ平年  
 ニズト返テ來テ、即チ增收ヲ見テ居ル  
 デハナイカ、造石高モ餘リ減テ居ナイデ  
 ハナイカ、サウシテ見ルト云フト、酒ガ上  
 テ大變困ル、成程喜ビハシナイガ、困ルト  
 云フ程度ガ今此處デ仰セラレタ程困テ居  
 ルカドウカ、是ハ議論ノ立方ニ依テ、特色  
 アリマセウガ、要スルニ先刻モ提案ノ時ニ  
 說明モ致シ、ソレカラ後カラ質問ノゴザイ  
 マシタ時ニモ御答致シマシタ通り、是ハ昨  
 年來カラノ公約ノ案デアリマス、此本日提  
 案ヲ致シタ所ノモノハ次ノ議會ニ提出スル  
 ト云フ譯デアアル、サウシテ之ヲ爲サナケレ  
 バナラヌト云フガ如キ理由ガ何處ニ在ルト  
 云フノデアリマスガ、是ハ提案ノ時ニ於テ說  
 明致シマシタ如キ理由ガアル、ソレナラ  
 レバ正確ニ言ヘト仰セラレルガ、ドウモマ  
 サカ目方ニ掛ケテ量ヲ見ルト云フヤウナ  
 譯ニハ參リマセウ(笑聲)起リ拍手、(脱線)ト  
 呼フ者アリ)國民全體ガ此案ヲ歡迎シテ、  
 ドウカ是ガ通過スルヤウニ期待致シテ居ル  
 コトハ事實デアリマセウ、是ガ即チ國民多  
 數ノ期待スル所ニ副ウテ居ル、所謂民衆政  
 治ノ當然ノ道行デハナイカト思ヒマス(片  
 岡サン眞面目ニヤツテ下サイ)ト呼フ者ア  
 リ)ドウモ我輩ノ顔付ガ不眞面目ナノカモ  
 知レマセウガ、中々說明シテ居ル所ハ極メ  
 テ眞面目デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 禱苗代君  
 (禱苗代君登壇)

○禱苗代君 只今議題ニ上程セラレマシテ  
 居リマスル此議案中ノ砂糖消費稅法中改正  
 法律案中、黑糖ニ關スル改正稅率ノ事ニ付  
 キマシテ、政府ノ所見ヲ二三伺ツテ置キタ  
 イト思フノデアリマス、私ハ昨年ノ議會ニ  
 於キマシテ黑糖ニ對スル消費稅ヲ存續スル  
 ト云フコトハ、負擔ノ均衡ノ上ヨリ、又產  
 業ヲ發展セシムル上カラ、並ニ社會政策ノ  
 效果ヲ舉ゲル上カラ、其存續スベカラザ  
 ル、即チ之ヲ全廢セナケレバナラヌト云フ  
 所ノ理由ヲ舉ゲテ、政府ノ所見ヲ伺ヒマシ  
 タ所ガ、成程其議論ハ尤デアアルカラシテ、

第二次税制整理ニ際シテハ考慮シテ、必ズ其時ニ相當ノ案ヲ出スト云フ所ノ御答ガアリマシタルガ故ニ、本年ノ此議會ニ對シテハ、此砂糖消費稅法中改正法律案ノ出ルニ際シテ、第一種即チ砂糖稅ノ中ノ和蘭標本第十一號未滿ノ砂糖ニ對スル消費稅ト云フモノハ、全廢セラレ、コトデアラウト期待シテ居、タノデアリマス、然ルニ此改正案ヲ見マスルト云フト、此第一種ノ中ノ甲種、乙種ニ對シテ相當ニ減額セラレ、即チ黒糖ニ對シテ其稅額ガ半減セラレテ居リマスルノデアリマスルガ、是ハ私ガ昨年御尋ネシタ所ノ理由ニ基キテ、全部廢止スベキ理由ガアルノデ、之ヲ存續セシメルト云フコトハ、詰リ政府ノ言明セラレテ居リマスル所ノ所謂負擔ノ均衡ヲ得セシムル上カ、社會政策ノ實效ヲ擧ゲル上カ、又産業ノ發達ヲ圖ル上カラシテ、甚ダ理由ガナイコトデハナカラウカ、蓋シ之ニ對シテ尙ホ此種ノ稅ガ存續スルト云フコトハ、是ハ政府當局、此立案ニ與カラレタ人ガ、所謂黒糖ノ製造業其物ノ業體ヲ能ク御存知ナイ所カラ、斯カル案ガ出來タノデハナカラウカト云フ疑ヲ私ハ持テ居ルノデアリマス、此疑ヲ晴ラスト共ニ、政府ガドウ云譯デ之ヲ存續セシメラレテ居ルカト云フコトニ付キマシテ、二三政府ノ所見ヲ伺フ置キタイノデアリマスガ、其中ノ第一ハ、黒糖ノ製造業者ニハ他ノ農産工業ニ比シテ、ドウ云フ譯デス様ニ重稅ヲ課シテ保護ヲ薄クサレルノデアルカ、即チ他ノ農産工業ニ比較ヲ致シマシテ、黒糖ニハ同一業體ナルノニ拘ラズ、重稅ヲ課シテ之ヲ保護セラレナイノデアルカト云フノガ、疑問ノ第一デアリマス、昨年改正ニナリマシタ所ノ營業收益稅法第七條ノ第七號ニ依リマスルト云フト、斯ウ云フ條項ガアルノデアリマス、自己ノ收獲シタル農産物、林産物、畜産物、若クハ水産物ノ販賣又ハ之ヲ原料トスル製造業ハ、其純益金額ノ如何ニ拘ラズ、即チ稅金ヲ課セナイト云フコトニナリテ居リマス、一例ヲ申シマシテ、農家ガ薩摩宇津山ニ作リマシテ、之ヲ原料トシテ澱粉ヲ造ラテモ、其純益ガ四

百圓以上ニナリマシテモ、之ニ對シテハ課稅ヲシナイト云フコトニナリテ居リマス、是ト同一業體デアリマスル所ノ此甘蔗ノ原料トシテ、同ジ業體ニ基キテ居ル所ノ甘蔗ノ原料トシテ製造シテ居ル所ノ砂糖ニ對シテノミ其保護ヲ薄クサル、ト云フコトハ、此營業收益稅ノ方面カラ考ヘテ、其農業ヲ發達セシメル、産業ヲ保護スルト云フ精神カラ考ヘテ、彼此レ其保護ニ厚薄ガアルト云フコトハ、理由ガナイコトデアリナイカト私ハ思フノデアリマス、成程甘蔗ノ原料トシテ砂糖ヲ製造スルト云フ、其生産物ハ違ヒマス、一方ハ澱粉デアリ、一方ハ砂糖デアリ、其生産品其物ハ違ヒマスケレドモ、其業體ノ上カラ考ヘマスレバ、彼此レ少シモ異ル所ハナイ、然ルニ斯ク取扱フ異ニスルト云フコトハ、不公平デハナイカト私ハ思フノデアリマス、所ガ甘蔗ノ原料トシテ製造シタル砂糖其物ハ、成程一ツノ課稅ノ物件トナリテ居リマス、故ニ假ニ規模ガ如何ニ小サクアツテモ、其生産物ガ砂糖ナルガ故ニ課稅シナケリヤナラヌデハナイカ、即チ大資本ヲ以テ經營スル所ノ機械製糖業者ニ對シテ課稅スルト同様ニ、矢張兎ニ角家庭工業デアラウトモ、其生産物ガ砂糖ナルガ故ニ課稅シナケレバナラヌデハナイカト云フコトハ、是ハ機械製糖業及黒糖ノ製造スル所ノ小農ノ經營シテ居ル家庭工業ト同一ニ取扱ハル、ト云フコトハ、是ハ頗ル不公平ナル處置デアアルマイカト思フノデアリマス、申上ゲルマデモナク沖繩並ニ大島ニ於テ出來マス黒糖ハ、牛若クハ馬ヲ以テ牽引セシメテ砂糖ヲ壓搾シテ、漸クニシテ日ニ四五人若クハ十人掛リテ一樽若ハ一樽半位ヲ拵ヘル、是ト一日ノ内ニ夥シイ所ノ産額ガ出來ル機械製糖デ生産致シマス所ノ製糖業者ト同一ナル取扱ヲ爲ス、ト云フコトハ、甚ダ以テ不公平デハナカラウカト思フノデアリマス、或ハ政府ハ辯解セラレドモ、アリマセウ、成程機械製糖モ是モ同ジク砂糖デアラガ、併シ一方ハ大資本ヲ以テ經營シ、一方ハ家庭工業ナルガ故ニ、其稅率ニ於テモ大ニ考慮スル所ガアツテ、一方ハ半減

ニモシテ居ルケレドモ、一方ハソレ程下ゲテ居ラヌデナイカ、併シ是ダケデハ只今申上ダタ所ノ業體ニ比較シテ甚ダ不徹底デハナカラウカト私ハ思フノデアリマス、或ハ又政府ハ辯解ガアリマセウ、砂糖ニ對スル課稅ハ消費稅デアツテ、成程製造業者ガ之ヲ納稅ハスルケレドモ、其負擔ト云フモノハ是ハ消費者ガスルノデアルカラ、産業ノ發達ヲ妨ゲルモノデハナイ、或ハ負擔ノ上カラ申セバ、多クノ消費者ガ負擔スルノデアツテ、サウ苦シイト云フコトハ考ヘラレナイデナイカ、或ハ斯ウ云フ辯解モサレルデアリマセウケレドモ、此消費稅ガ轉嫁セラレル場合ハ、所謂生産者ノ所得ガ生産費ヲ補フニ足ラザル場合ハ、是ハ轉嫁セナイノテ尙ホ餘リアル場合ニハ、是ハ順調ニ轉嫁シテ行キマスケレドモ、其所得ガ生産費ヲ補フニ足ラザル場合ハ、是ハ轉嫁セナイノガ原則ト申シテモ宜カラウト思フ、而シテ沖繩、大島ニ於ケル今日ノ狀況カラ見マスト、今日ノ砂糖製造業者ト云フモノハ實際ニ引合ハナイ、現ニ人夫ヲ換算シ、或ハ肥料ヲ金ニ換ヘテ計算ヲ致スヤウニナリマシタナラバ、甚ダ引合ハナイ營業ニナリテ居ルノデアリマス、故ニ斯カル場合ニ於テハ、所謂是ハ名ハ消費稅デアリマスケレドモ、其實ハ是ハ生産稅デアルト申上ダテモ宜カラウト思フ、斯カル狀態デアリマスカラ、其業體ノ上カラ考ヘテ、今日之ニ對シテ、所謂小農ノ營ンデ居リマス所ノ家庭工業ニ對シテモ、尙ホ今日ノ砂糖ノ價格カラシマスレバ、約從價一割ニ相當スル重稅ヲ課セラレルト云フコトハ、是ハ苛酷デアアルマイカ、斯ウ云フ疑ヲ私ハ持テ居リマスノデ、此意味ニ於テ此稅金ヲ存續セシムルト云フコトハ、矢張負擔ノ均衡ヲ得セシムル上カラ申シマシテモ、又社會政策ヲ實行スル上カラ申シマシテモ、所謂産業ヲ發展セシムル上カラ申シマシテモ、甚ダ理由ノ無イコトデアラウト思フノデアリマスガ、之ニ對スル政府當局ノ言明ヲ伺ヒタイノデ、是ガ第一點、第二ハ砂糖消費稅ヲ存續セシメテ置キマシタナラバ、之ニ伴ウテ特色ナル弊害ガ伴ウテ來ルノデアリマス、先

ジ第一之ニ對シテ伴フ所ノ弊害ト申シマスルノハ稅務官吏ノ今日不足ノ上カラ、之ヲ検査スルガ爲ニハ、殊ニ大島ノ如キハ幾ツモノ鳥カラ成テ居リマスガ故ニ、稅務官吏ヲ迎ヘテ、之ニ検査ヲシテ貰ハナケレバ移出ガ出來ナイ、隨テ早く出張シテ貰フトト頼ム爲ニ其官吏ヲ或ハ歡待ヲシ、或ハ是ハ極言スレバ贈賄ヲスルト云フヤウナコトニシテ、漸ク砂糖ノ検査ヲシテ貰フテ移出スルコトニナル、斯様ニシテ風儀ヲ紊スノミナラズ、又次ノ如キ弊害モ伴フノデアリマス、此消費稅ノ取締上或ハ已ムヲ得ヌトモ言ヘマセウケレドモ、昔カラ大島デモ沖繩デモ同ジコトデ、是ハ日本國中何處へ行ツテモ新シイ品物ガ出來マシタナラバ、之ヲ先祖ニ先ツ一番最初ニ上ゲルト云フコトハ、我國ノ淳風美俗ヲ維持スル所以デアル、所謂敬神崇祖ノ念ヲ涵養スル上ニ必要ナル事柄デアラウト思フノデアリマス、然ルニ大島デ砂糖ノ一番最初ニ出來タ場合ニ或ハ茶碗ニ、或ハ「コップ」ニ、或ハ竹筒ニ其砂糖ヲ入レテ、之ヲ先祖ニ上ゲルト云フコトニスレバ、ソレガ爲ニ處罰ヲ受ケル、其處罰ハ是ハ法律ノ缺點モアリマスルガ、尠カラザル罰金ヲ科セラル、ノデアリマス、五十圓以上トナリテ居リマスガ爲ニ、多ク七十圓、八十圓、百圓ト云フ罰金ヲ受ケテ、僅ニ半斤、ソレ以下ノ品物ヲ斯様ナ美風ノ爲ニ使フトキニモ、尙ホサウ云フヤウナ處罰ヲ受ケル所ノ者モ少クナイ、故ニ砂糖ヲ造ルト云フコトハ、是ハ甚ダ危險ナコトデアル、斯様ナ事柄モ一ノ砂糖ノ消費稅存續ノ上カラ、所謂我國ノ淳風美俗ヲ發達セシムル上カラ考ヘマシテモ不都合ヲ來スノデアリマス、其上ニ尙ホ負擔ヲ増シマスルコトモアリマス、即チ砂糖消費稅以外ニ、其砂糖消費稅ヲ存續セシムルト云フコトニ於キマシテ、頗ル重稅ト云フテモ宜イ位ノ負擔ヲ免レヌコトガ少クナイ、一例ヲ申シマスレバ、此稅務官吏ガ來テ検査ヲシテ貰ウコトガ出來ナイ、故ニ偶、船ガ來テモソレニ積出スコトモ出來ナイ、故ニ約束ノ契約ノ期間ヲ守ルコトモ出來ナケレバ、商機ヲ

逸スルコトが少クナイカラシテ、ソレニ依リ斯ウ云フ損害モ亦少クナイノデアリマス、デス様ニ税金ガ半額セラレマシテモ、ソレニ附帯スル所ノ其損害ヲ受ケルコトハ、又少クナイノデアリマスカラ、是等ノ點ヲモ向ホクノ考慮致サレタナラバ、此税金ノ存續ト云フモノハ爲スベカラザル事柄ガ種々生ジテ來ルノアルニ拘ラズ、是等ノ點ガ考ヘラレテ居ルノデアリマセウカドウデスカ、矢張存續セラレテ居ラ、ト云フコトハ、是等ノコトハ矢張考慮ノ中ニ入ラレタノデアリマスルカドウカト云フコトヲ、私ハ何ゾ置キタイノデス、第三ハ現在大島ニ於キマシテハ砂糖ノ生産高見マスト云フト、一箇年ニ中等ノ土地一反歩ニ對シテ出來ル所ノ砂糖ハ、金額ニ之ヲ見積リマスト約五十餘圓ニ相當スルノデアリマス、然レニ其生産費ハ幾ラ掛ルカト申シマスルト、人夫ヲ男ヲ七十錢、女ヲ五十錢ト云フ低廉ナ賃金ニ見積リマシテモ、尙ホ七十餘圓何ガシト云フ金額ヲ要スルノデアリマス、故ニ斯ノ如キ金額ニ見積リマスト云フト、是ハ約二十四圓何ガシト云フ損失勘定ニナツテ居リマス、デスウ云フ状態ノ即チ業體ニ對シテ課稅ヲセラル、ト云フコトニナツタナラバ、産業ノ發達ト云フモノハ望ムコトハ出來ナイ、故ニ吾々ノ處デアリマシテモ、沖繩デアリマシテモ、所謂足腰ノ立ツ所ノ青年ナル者ハ、皆農村ノ飛出シテ阪神地方ニ出テ労働ニ從事シテ居ルト云フ現状デアリマス、斯カル現状デアリマスカラシテ、今日ハ益、沖繩大島ノ農村ト云フモノハ、一層他ノ處ニ比シテ疲弊困憊ノ極ニ達シテ居ルノデアリマスルガ、此状態ヲ見ラレタナラバ、此状態カラ考ヘラレタナラバ、斯ウ云フ所ノ業體ニ從事シテ居ル此製造業者ニ對スル課稅ト云フモノハ、頗ル酷デハアルマイカト思ハレルノデアリマスルガ、政府ハ向ホ之ニ對シテ此稅ヲ存續セラレルト云フコトハ、一體ドウ云フ御考デアルカ、其邊ヲ御答ヲ願ヒタイノデアリマス、第四ニハ是ハ先刻カラ屢、問題ニナツテ居リマスルガ、此砂糖ハ所謂庶民階級ノ人ミガ需要スルノデアリマテ、サウシテ此人ノ救フガ爲ニ、所謂社會政策ノ效果ヲ舉ゲル上カラシテ、之ヲ他ノ稅種ニシテ他ノ種類ノ砂糖ニ對シテ相當ノ金額ヲ減セラレタ、成程ソレダケ減セラレタマケハ有難イニハ違ヒアリマセス、

違ヒアリマセスケレドモ、先刻來申上ゲマスル通り、此消費者ハ成程東北ニ、或ハ北海道ニ、或ハ北九州ノ山ノ奥ニ於テ使ハルノデ、多クハ此庶民階級ノ人ミデアリマシテ、是等ノ人モ是ダケ減ジタナラバ、其轉嫁ガ減ズル譯デアリマスルケレドモ、實際ハ今マデ申上ゲル事柄ニ依テ考ヘテ見マシテ、此消費稅ノ轉嫁ト云フモノハ行ハレズシテ、生産者ガ負擔スルコトニナリハセヌカ、斯ウ云フ點カラ考ヘテ見マスト云フト、此生産ヲ援助シ、此産業ヲ發達セシムルト云フ上カラ考ヘマシレバ、所謂此社會政策ハ兩方ニ跨ガリマスケレドモ、是ダケノ減稅デハ尙ホ不徹底デアリ、其半額以上ヲ生産者ハ負擔シテ居ルデアリマスルガ故ニ、イソ之ヲ撤廢セラレル處置ニ出ラレナカッタノ、ト云フ譯デアリマスカ、是ダケノ事ヲ極ク率直ニ伺フテ置キタイノデアリマス、尙ホ詳細ノコトハ委員會ニ於テ數字ニ基キテ御尋ネ致シタイノデアリマスカ、以上申述ベマシタ數項ニ對シテ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス(拍手)

○政府委員(黒田英雄君) 御尋ネニナリマシタ點ハ極メテ多イノデアリマスルガ、要スルニ今回ノ砂糖消費稅ノ改正ニ於キマシテ、第一種甲ノ屬シマス樽入黒糖ノ何ガ故ニ免稅ヲシナカッタカト云フコトニ歸着致スヤウデアリマス、樽入黒糖ヲ免稅シロト云フ御議論ハ屢、拜聽致シテ居ルノデアリマシテ、能ク御趣旨ハ承知致シテ居ルノデアリマス、隨テ今回ノ稅制整理ニ於キマシテモ其點ハ十分考究ヲ致シタノデアリマハ、樽入黒糖ヲ免稅シマスト云フコトハ、只今御述ベニナリマシタヤウニ、是ガ主産地デアリマス沖繩縣、或ハ鹿兒島縣ノ大島等ニ於キマスル是等ノ製糖業ヲ保護スルト云フ御趣意ニアルヤウニ承ルノデアリマスカ、私共研究致シマシタ所ニ於キマシテハ、是ハ却テ沖繩、大島ノ製糖業ノ爲ニ利益デナイト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスカ、若シ此樽入黒糖ヲ免稅致スト云フコトニナリマスト云フト、是ノ製造ハ極メテ自由ニナルノデアリマス、隨テ今日樽入黒糖ガ造ラレテ居リマスノハ主トシテ沖繩、大島デアリマスケレドモ、内地ニ於テモ尙ホ御承知ノ通り九州各縣ニ於テ或ハ高知縣、徳島縣、愛知縣、三重縣等ニ於テモ

多少ノ生産ハ今日アルノデアリマス、是等ガ極メテ便利ニ生産ヲスル事ガ出來ルノデアリマス、又ソレノミナラズ非常ニ製糖能力ノ強イカヲ持テ居リマス所ノ臺灣ニ於キマシテモ、是ガ免稅ニナリマシレバ樽入黒糖ヲ造ルト云フコトハ極メテ容易ニ出來ルノデアリマス、又海外カラ參リマス、殊ニ比律賓アタリニ出來マス所ノ砂糖ノ如キ、是ナドヲ内地ニ持テ參リマシテ、假置場デ樽入ヲ致シマシレバ、樽入黒糖トシテ是ハ免稅ノ扱ヒヲシナケレバナラヌノデアリマス、左様ニシマスレバ沖繩、大島ノ糖業ハ非常ニ壓迫ヲ受ケルコトニナツテ、却テ今日ヨリモ苦シイ立場ニ陥ルヤウニナリマスト云フコトハ沖繩、大島ノ製糖業ヲ保護スル所以デナイト云フ風ニ考ヘタノデアリマス、併ナガラ是ガ消費ノ方面ヲ見マシテモ、先程申シマシタヤウナ事情ニ在リマシシ、又製造ノ方ヲ見マシテモ只今御述ベニナリマシタヤウニ相當困難ナ情況ニ在ルト云フコトハ能ク承知致シテ居リマス、成ベク消費者ノ負擔ヲ輕減シ、是等ノ製造ヲ容易ニ致ス趣旨ヲ以テマシテ、他ノ砂糖ニ比較致シマシテハ、其率ヲ低ク致シマシテ半減致シタノデアリマス、之ニ依リマシテ半減致シタノデアリマス、之ニ依リマシテ消費者ハ其恩典ヲ受ケナイデアララト云フ風ノ御疑念モアリマシタガ、私ハ是ハ消費者ノ上ニソレダケノ一少クトモソレ以下ノ輕減サレルコトハ當然デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、又沖繩、大島ニ於キマシテ製糖業ノ困難デアルト云フコトハ、是ハ單リ消費稅ノ關係デハナイヤウニ考ヘルノデアラウト思マシテ、其他經濟上種々ナ原因ガアルデアラウトデアリマシテ、一例ヲ舉ゲマシテモ、砂糖ニ付キマシテモ、沖繩、大島カラ大阪ノ市場ニ持テ來マス運賃ハ、却テ臺灣等カラ持テ來マスヨリモ高イト云フ風ナ事情モアルノデアリマス、生産上ニ種々不利益ナ事情ガアラウト思フノデアリマス、是ハ消費稅ヲ免ズルコトニ依テソノ救済スル上、出來ナイノデアリマスカ、他ノ經濟上ノ改善ニ依テ其目的ヲ達スル外ハナイト考ヘルノデアリマスカ、併ナガラ消費稅ノ半減致シマシタコトハ、製造業者ニ取リマシテモ極メテ有利ノ狀況ニナルノデアリマス、唯、只今御述ベニナリマシタヤウニ、時ニハ此消費稅ガ轉

嫁サルベキモノガ或ハ製造者ノ負擔ニナルト云フ風ナ事ガアルト云フ御話ガアリマシタガ、サウ云フ場合ガ必シモナイト申シマセヌカ、サウ云フ場合ガ少クハ、又サウ云フ場合ガ除キ得ルト云フコトハ、此半減ヲスルコトニ依テ非常ニ效果ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、又營業收益稅ノ條項ニ付テ權衡上御話ニナリマシタガ、此御疑問ハ私ハ正確ニ御質疑ノ點ヲ捉ヘルコトガ出來ナカッタノデアリマシテ、或ハ違ヒマシテ、他ノ農産物ニ付キマシテハ砂糖ト違ヒマシテ、砂糖ハ砂糖トシテノ消費稅ヲ設ケテ居ルノデアリマスカ、ソレガ甘蔗ト云フ農産物カラ造リマシテモ、其出來タ砂糖ト云フモノ、權衡上、只今申シマスヤウニ適當ナ稅率ヲ按配シテ居ルノデアリマスカ、特ニ是ハ製糖業ニ對スル重キ負擔ヲ課シテ居ルト云フコトハ申サレナイト考ヘルノデアリマス、ソレカラハ是ハ特ニ大島ニ付テノ御話デアリマシタガ、存續ヲ致スニ付キマシテモ色々ナ弊害不便ト云フコトヲ御述ニナリマシタ、是等ノ點ニ付キマシテハ常ニ注意ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、是ハ恐クハ禱サンモ御承知ノ事トハ考ヘルノデアリマス、其取扱ニ付キマシテハ極メテ便宜ヲ圖フテ居ルノデアリマス、又組合トモ能ク協力ヲ致シマシテ、内地ノ製糖業者ニ對シマス其場所ノ關係、色々ナ事情ノ關係カラ致シマシテ、出來ルダケノ便宜ヲ今日圖リツ、アルト云フコトハ、能ク御承知下スツテ居ルト、考ヘルノデアリマス、稅務官吏ノ之ガ爲ニ腐敗スル上ニ云フコトニ付テ御述ベニナリマシタガ、是ハ單リ大島ニ限リマセヌ、全國ノ稅務官吏ニ付キマシテ常ニ戒メテ居ルコトデアリマス、殊ニ斯ノ如キ交通不便ナ所ニ參リマス者ニ付キマシテハ、一層注意ヲ加ヘルコトニ致シテ居ルノデアリマス、是等ハ將來ニ於キマシテモ左様ナ事ガナイヤウニ、公平ニ仕事ヲスルヤウニ、十分ニ注意ヲ致ス積リテ居リマスカ、勿論今日迄モ左様ナ事ハナイト信ジテ居リマス、ソレカラ或ハ自家用ノ事トナカ、或ハ商機ヲ逸スルト云フ風ナ事ニ付テノ御話モゴザイマシタガ、是ハ先程申述ベマシタ通り、取締上差支ナイ限リニ於テ相當便宜ヲ取扱ヲ致シテ居ルノデアリマスカ、私ハ御述ベニナリマシタ程ノ不都合ハ生ジ

テ居ラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、生産費等ノ事ニ付テノ御話モゴザイマシタガ、是ハ又委員會デ詳細承リマシテ意見ヲ申上ダマスルガ、先程申シマシタヤウニ是ハ唯、消費稅ノ關係ノミデナク、經濟上ノ種々ノ原因カラシテ困難ナ事情モアラウト考ヘルノデアリマシテ、之ヲ除キマスノハ自ラ他ニ方法モアルコトデ、考慮シナケレバナラヌコト、考ヘテ居ルノデアリマス、大體御質問ノ點ニ付テハ御答申上ダタト思ヒマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 神崎勳君

○神崎勳君 昨ハ只今付議サレテ居リマス所ノ登錄稅法中改正案ノ一部ニ付キマシテ、政府ノ御意見ヲ伺フテ見タイト思フデアリマス、政府ニ於キマシテハ先年來銀行ノ合同ニ付キマシテ非常ニ御獎勵ニテ居ルノデアリマスガ、併シ吾々ノ見受ケル所ニ依リマスレバ、御獎勵ト申スヨリモ寧ろ強制ナサレテ居ルヤウニ見受ケラレルノデアリマス、併シ我ガ日本帝國ノ今日ノ金融界ノ狀態カラ見マシタラバ、機宜ニ適シタ所ノ御處置ト致シマシテ私モ其舉ニ贊同シテ居ル一人デアアルノデアリマス、政府ガ御獎勵サレマス同時ニ、一般社會モ此合同ヲ是非ヤラナケレバナラヌト云フコトニナツテ居ルト致シマシタナラバ、此合同ニ付キマシテ最モ苦痛トサレマス所ノ登錄稅ノ免除ト云フモノヲ、是非ヤラナケレバナラヌト云フコトノ聲ガ高ク、デアリマス、政府ノ御獎勵ト云フコトニ付キマシテハ、他ノ事業ニ於キマシテハ獎勵金ナドヲ出シテ居ルノガアリマスカラシテ、假令財產家ノ組織サレタ所ノ銀行ト申シマシテモ、小サイ銀行等ニ於キマシテハ、必シモ富豪ノミデハナイノデアリマスカラ、當然是ハヤラナケレバナラヌト云フ考ヲ以チマシテ、私モ一昨年デアラト思フデアリマス、五十議會ニ是ガ免除ノ建議案ヲ提出サレマシタ所ガ、本會議ニ於キマシテモ、若クハ委員會ニ於キマシテモ、滿場一致ヲ以チマシテ、是ガ決定ヲ見テ居ルノデアリマス、斯ノ如キ所以ヲ以チマシテ、今回政府ガ若シモ此登錄稅法ノ改正案ヲ御提出ニナツタト致シマシタナラバ、必ズ此課稅ト云フモノハ削除サレルデアラウト云フ考ヲ持テ居ラヌデアリマス、然ルニ圖ラザリ

キ今回御提出ニナリマシタ所ノ改正案ニ依リマスレバ、其第六條ニ於キマシテ、千分ノ一ト千分ノ五ト云フ二様ニ依リマシテ課稅サレテ居ルノデアリマスガ、實ニ吾々ハ政府ノ御意見ノ在ル所ヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、地方ニ於キマシテハドウデアリマセウ、百万圓以下ノ銀行ノ合併ト云フモノヲ政府ガ是非ヤラセル、若シモ之ヲヤラナカッタラバ、近キ將來ニ於キマシテ法律ヲ以テ百万圓以下ノ銀行ノ存在ヲ禁ズルト云フコトヲ縣ニ於キマシテハ殆ド口外サレテ居ルノデアリマス、法律ヲ以テ百万圓以下ノ銀行ノ存在ヲ禁ズルカラ、是非合併シナケレバナラヌト云フコトヲ御使ヒニナリマシテ、合併ヲ獎勵サレテ居ルニモ拘ハリマセズ、今回ノ御提出案ニ依リテ見マシタナラバ、矢張何程カノ課稅ヲサレテ居ルト云フコトハ、何タル是ハ大矛盾デアラウカト思フデアリマス、併シ私等ガ考ヘルノニ付キマシテハ、地方ニ於キマシテ非常ニ中央政府ノ御意見ノ在ル所ト云フヤウナコトヲ申サレテ居ルノデアリマスカ、是ハ私ハ或ハ地方ニ於テ間違タコトアリマカ、大藏省ニ於キマシテハ餘リ合併ト云フコトニ御熱心デナイニモ拘ハリマセズ、縣ノ都合ニ依リマシテスノ如キコトヲ申サレテ居ルノデアアルマイカト云フ疑ガ起ルノデアリマス、私ハ寧ろ如キコトデアリマシタナラバ、洵ニ重大ナ事件ト思フノデアリマス、政府ハ何所々々マデモ此銀行ノ合併ヲヤラナケレバナラヌ、若シモヤラナカッタラバ、近キ將來ニ於キマシテ法律ヲ以テ其存在ヲ禁ズルト云フヤウナコトヲ主張サレテ居リマシテ、其實際今回提出サレマシタ所ノ案ニ依リマシタナラバ、矢張本議場ニ於キマシテ滿場一致ヲ以テ是ガ削除ヲ請願サレテ居ルニモ拘ハリマセズ、故ラハ、確ニソコニ地方ト中央トノ行違ヒガアルノデアアラウト思フデアリマス、デアリマスカラ私ハ大藏省ニ於キマシテ、銀行ニ對スル所ノ御處置ハ、地方ニ於テ唱ヘラレテ居ルヤウニ非常ニ御熱心デアラカ、若クハ他ノ會社ノ合併見タヤウニ餘リ熱心デモナイト云フコトデアリマスカ、之ニ付キマシテ詳細ノ御聲明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此御聲明ハ洵ニ重大問題

題デアリマシテ、政府ノ御聲明如何ニ依リマシテハ、廣ク全國ニ於キマシテ大變獎勵ヲ進メテ居ル所ノ銀行ノ合併ニ一頓挫ヲ來タスベキモノデアラウト思フデアリマス、ドウカ極ク簡單ニ此事ニ付キマシテ、御聲明アラシコトヲ希望スル次第デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 大藏大臣 (國務大臣片岡直温君登壇)

○國務大臣(片岡直温君) 只今ノ御尋ネニ御答申上ダゲマス、今回ノ改正案ハ從來ヨリ大體半減致シテ居リマス、併ナガラ百万圓ト百萬圓ヲ合併シタ時ハサウデアリマスガ、更ニ増加スルモノニ對シテハ、資本ノ増加スル場合ニ於テハ、是ハ少シ率ガ變テ居ルト思フ、是ハドウモ他ノ課稅ノ權衡上、之ヲ全ク免稅シテシマフト云フコトハ不適當ト思フテ居リマス、而シテ銀行合併ニ對スル大藏省ノ方針ニ付テノ御尋ネデアリマスガ、大體我國ノ金融制度ナルモノハ、元ト各種ノ銀行ノ出來マスル際ハ、相當制度ガ備テ居ラタト思ヒマスガ、段々ニ法規ガ改正セラレマシテ、今ノ所デハ各種ノ金融機關ガアリマス、如何ニ産業ノ發展ハ思ハヌノデアリマス、如何ニ産業ノ發展ハ主張シマシテモ、金融機關ナルモノガ今少シ完全ニナツテ參リマセマケレバ、ドウシテモ産業ノ發展ハ私ハ出來ヌト思フデアリマス、ソレ故ニ此制度ヲ十分ニ致シタイト考ヘマシテ、朝野ノ識者ヲ集メテ、金融制度ノ調査委員會ヲ拵ヘテ居ル、其議決ヲ經テ所ノモノハ最早遠カラズ普通銀行ニ對シテ大藏省ノ方針ナリモノハ明ニナル存ジマス、大體小資本ニシテ各地ニ多クノ銀行ガ散在シテ居リマスルコトハ、一面ニハ頗ル便宜ヲ得ルヤウデアリマスガ、是ガ爲ニ金融ニ種々ノ阻害ヲ來スコトハ少クナイ、是ハ當業者ノ過チモアリマスルガ、制度ノ不備モアルト思ヒマス、又地方ノ方面ニ至リマシテハ、都會ノ如キ金融ハ便利ニ滑ラカニハ行キ惡イ事情ガアリマスルガ爲ニ、各町村ニ對シテハ所謂庶民銀行ナルモノヲ設ケタイト思フテ居リマス、是ハ不日、最近ニ金融制度ノ調査委員會ニ掛ケマシテ、成案ヲ得マシタナラバ、提案ヲスル積リデアリマス、要スルニ今日ノヤウナ普通銀行ガ幾ツモ小資本ノ儘散在シテ居ルコトハ、却

テ金融ノ不圓滑ナラシムルモノデアアル、故ニ之ヲ合同セシムルコトヲ欲スルノデアリマス、ソレ故ニ合同ノ促進ノ上ニ於テ課稅ノ如キモ從來ヨリ半減ヲ致シタト云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、此金融制度ニ付テ具體的ニ十分申上ダゲタイト存ジマスガ、大分此稅制案ニ付テ時間ヲ取リマシタカラ、他日案其モノガ備ハリマシタナラバ、其時ニ讓リタイト思ヒマス

○議長(粕谷義三君) 是ニテ質疑ノ發言ヲ終リマシタ、仍テ日程第七、右各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第七 右各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○原總兵衛君 日程第三乃至第六ハ之ヲ一括シテ、議長指名二十七名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○贊成(贊成)ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセズカ

○異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第八、國債整理基金特別會計法中改正法律案 第一讀會ヲ開キマス、片岡大藏大臣

第八 國債整理基金特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

國債整理基金特別會計法中左ノ通改正ス  
第二條ノ二 國債ノ元金償還ニ充ツル爲  
前條ノ繰入額ノ外毎年度其ノ前前年度  
ニ於テ一般會計ノ歲計上新ニ生シタル  
剩餘金ノ四分ノ一ヲ下ラサル金額ヲ一  
般會計ヨリ國債整理基金特別會計ニ繰  
入ルヘシ  
前項ノ剩餘金ノ計算ニ付テハ之ヲ生シ  
タル年度ヨリ翌年度ニ繰越シタル歲出  
豫算ノ財源ニ充ツヘキ額ヲ算入セサル  
モノトス  
第四條第一項ヲ左ノ如ク改ム  
國債整理基金ハ國債ヲ以テ保有シ又ハ  
大藏省預金全部ニ預入レ之ヲ運用スルコ  
トヲ得  
附則  
本法ハ昭和二年度ヨリ之ヲ施行ス  
(國務大臣片岡直温君登壇)  
○國務大臣(片岡直温君) 只今議題ト相成

リマシタ國債整理基金特別會計法中改正法律案ニ付キマシテ説明ヲ致シマス、曩ニ昭和二年度總豫算ヲ説明致シマス際ニ申述ベマシタル通り、近年我が國債增加ノ趨勢ハ頗ル著シク、最近十箇年間ニ我が國債ノ總額ハ二倍餘ニ増加シテ居リマス、故ニ將來若シ何等施ス所ナクシテ、從來ノ趨勢ニ放任致シマストキハ、我が國債額ハ年々累増致シマシテ、國庫將來ノ負擔ヲ過重ナラシムルハ勿論、益々金融市場ヲ壓迫シ影響海ニ延イテ我が國經濟界方面ニ及ボス影響海ニ恐ルベキモノガアルト存ジマス、故ニ我國將來ノ國債政策ト致シテハ、極力起債額ノ減少ニ努メマスルコトノ必要ナルコトハ勿論デアリマスルガ、從來ノ國債償還方針ニ更ニ一歩ヲ進メマシテ、其償還額ノ増加ヲ圖ルコトガ現下ノ最大急務デアルト信ズルノデアリマス、而シテ國債償還額增加ノ方法トシテハ、現行ノ國債整理基金特別會計法第二條第二項ノ規定ニ依リマスル萬分ノ百十六以上ノ償還資金ノ繰入ノ外ニ、歲計ニ剩餘ヲ生ジマシタル時ハ、之ヲ國債ノ償還ニ充ツルノ制度ヲ樹テマスルコトハ、財政政策上最モ妥當ナリト認メマシテ、昭和二年度ヨリ歲計剩餘ノ一部ヲ國債償還資金ニ充當スルノ制度ヲ樹テマシタノデアリマス

〔粕谷議長議長席ヲ退キ小泉副議長代リ著席〕  
而シテ其割合ハ成ベク多キヲ可ト致シマスルコトハ勿論デゴザイマスルケレドモ、歲計剩餘ノ一 新規歲計ノ剩餘ヲ新規歲出ノ財源ニ充テ、來マシタコトハ我國財政多年ノ慣行デアリマシテ、今俄ニ之ヲ變更スルコトハ如何ニモ困難ト致ス實情デアリマス、ソレ故ニ其最低割合ヲ前々年度ニ新ニ生ジタル純剩餘金ノ四分ノ一ト爲スコト、致シマシタ、而シテ此制度ハ現今ノ確定償還ノ制度ト相俟ツテ、將來ニ涉リ繼續シテ實行スル爲ニ之ヲ法制トシテ定メテ置ク必要ヲ認メマス、茲ニ國債整理基金特別會計法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、何卒慎重審議ノ上速ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望スル次第デアリマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 日程第九、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
○砂田重政君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス  
〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ  
○副議長(小泉又次郎君) 砂田君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、日程第十、市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、文部大臣岡田良平君

第十 市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(政府提出) 第一讀會  
市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案  
市町村義務教育費國庫負擔法中左ノ通改正ス  
第二條中「七千萬圓」ヲ「七千五百萬圓」ニ改ム  
附則  
本法ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
〔國務大臣岡田良平君登壇〕  
○國務大臣(岡田良平君) 只今議題ニナリマシタ市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案ノ要旨ヲ申上ゲマス、既ニ十分御承知ノ通り市町村義務教育費國庫負擔法ニ依リマシテ、大正十六年度、即チ昭和二年度ニ於キマシテハ、豫算ニ於テ七千五百萬圓ヲ計上スルコトニ致シテアルノデアリマス、是ハ豫算ニ件ヒマシテ、法律ヲ改正スル慣例ニナラズ居リマスルノデ、即チ茲ニ法律ノ改正案ヲ提出致シマシテ、法律ノ第二條中ニ七千萬圓トゴザイマスルノヲ、七千五百萬圓ト改正致サントスル法律案デゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 日程第十一、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス  
第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
○砂田重政君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス  
〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ  
○副議長(小泉又次郎君) 砂田君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス  
○砂田重政君 殘餘ノ日程ニ對シテ延期ノ動議ヲ提出致シマス

〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ  
○副議長(小泉又次郎君) 砂田君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス  
○砂田重政君 殘餘ノ日程ニ對シテ延期ノ動議ヲ提出致シマス

〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ  
○副議長(小泉又次郎君) 砂田君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、尚ホ御諮リ致スコトガアリマス、第二部選出豫算委員山口左一君、第七部選出豫算委員松井郡治君、右何レモ豫算委員辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナケレバ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補闕選舉ヲ行ヒ、直ニ御届出アラレンコトヲ望ミマス、次回ノ日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ散會致シマス  
午後四時四十一分散會

衆議院議事速記第七號中正誤  
頁段 行 誤 正  
八五一 一四 砂田ノ 砂田君ノ